
福祉人材確保に向けた若者と 取り巻く関係者への意識等調査 報告書

令和 7 年 3 月

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

茨城県福祉人材センター

はじめに

我が国では、生産年齢人口の減少と高齢化の更なる進行により、2040年には高齢者人口がピークを迎えることが予測され、増大する福祉・介護ニーズへの対応が求められています。

このような局面に対して、国は、福祉人材の確保に向け、処遇改善やテクノロジーの活用などによる生産性向上など、様々な施策を打ち出しています。

そのような中で、福祉人材センターは、福祉人材の確保・育成・定着の総合的・継続的な取り組みを担う組織としての役割を、これまで以上に果たしていく必要があり、その一環として、社会福祉事業等従事者の確保に関する調査研究を行うことが求められています。

そこで、本会では、今後の福祉人材の確保・育成・定着に関する対策を立てるために、特に若い世代に焦点を当てた調査を実施しました。

今回の調査では、県内の福祉施設・事業所で働く、とりわけ若年層の職員の仕事や働き方に関する考え方、職場への希望、就業継続の要件や就職・転職の経緯等を把握するほか、学校の進路担当教員や家族等の福祉職場に対する意識や、職業・就職先選択の際の影響等についても実態を把握したところです。

その結果、福祉施設・事業所の種別や職種によって、若者が直面している職場の問題や困難度の違いなどが明らかになりました。また、福祉業界に関心を持った時期、きっかけ、属性なども明らかになり、人材確保のための貴重なデータが得られました。

今後は、この調査結果をもとに、関係機関と連携しながら、これからの福祉人材の確保・育成・定着に向けて事業を推進していくとともに、関係各方面で広く活用していただければ幸いに存じます。

最後に、本調査の回答にご協力いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、調査実施の各段階でご協力をいただいた関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。

令和7年3月

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

目次

I. アンケート調査の概要

1. 調査の趣旨・目的	1
2. 実施主体	1
3. 調査対象	1
4. 調査内容	1
5. 調査方法	1
6. 基準日	2
7. 調査期間	2
8. 回収状況	2
9. データの集計等	2
10. 回答者の属性等概要	2
11. 調査結果概要	6

II. アンケート調査結果

1. 若手職員向け調査	9
問2-1 性別を理由とした職場での困りごと	9
問7 保有資格	10
問9 毎月の平均残業時間	11
問10 有給休暇の取りやすさ	13
問11 賃金の支給形態	15
問11-1 1時間当たりの賃金（税込）	15
問11-2 1日当たりの賃金（税込）	16
問11-3 1か月の基本給（税込）	17
問11-4 毎月決まって支払われる手当等	19
問11-5 1か月に支払われる手当等の総額（税込）	21
問11-6 現在の賃金満足度	23
問11-7 現在の賃金に対する不満の理由	27
問12 現在の勤務先を決めたきっかけ	29
問13 福祉の仕事を指そうと思った時期	34
問14 福祉の仕事を指そうと思った理由	36
問15 福祉の仕事を就職先と決める際、家族等や先生（学校）、友人・学校の先輩・後輩への相談の有無	38
問15-1 家族等や先生（学校）、友人・学校の先輩・後輩に相談した際の意向	39

問 15－2	家族等や先生（学校）、友人・学校の先輩・後輩に相談した際の意向（自由記述）	42
問 15－3	福祉の仕事に就労してから、家族等の福祉の仕事に対する印象の変化の有無	42
問 15－4	家族等の福祉の仕事に対する印象に変化があった場合の変化の内容	43
問 16	現在の勤務先への入職動機	45
問 17	現在の勤務先でやりがいを感じる	47
問 18	入職前と入職後での福祉の仕事に対するイメージの変化の有無	48
問 18－1	入職後の福祉の仕事に対するイメージの変化の内容	48
問 18－2	入職前の福祉の仕事に対するイメージ	52
問 20	転職経験の有無	54
問 20－1	転職の回数	56
問 20－2	労働環境を理由とする転職動機	57
問 20－3	就労条件・自身の環境を理由とする転職動機	58
問 21	現在の勤務先での就労継続意欲	59
問 21－1	労働環境を理由とする働きたい理由	62
問 21－2	就労条件・自身の環境を理由とする働きたい理由	63
問 21－3	転職先として検討している分野	63
問 21－4	現在の勤務先から転職を検討している労働環境に関する理由	64
問 21－5	現在の勤務先から転職を検討している就労条件・自身の環境に関する理由	66
問 22	職場で困りごとがあった場合の相談者の有無	67
問 22－1	相談相手	68
問 23	現在の困りごとの有無	68
問 23－1	困りごとの内容	70
問 24	現在の勤務先への要望	73
問 24－1	問 24 の回答の内、特に重視するもの（最大 3 つ）	76
問 25	福祉の職場に対する意見	77
2.	家族等向け調査	79
問 3	福祉の仕事や労働環境に対する印象	79
問 3－1	福祉の仕事や労働環境の良い印象の内容	80
問 3－2	福祉の仕事や就労条件の良い印象の内容	81
問 3－3	福祉の仕事や労働環境の悪い印象の内容	82
問 3－4	福祉の仕事や就労条件の悪い印象の内容	83
問 4	福祉職場で働く方が福祉の仕事に就職先と決める際の相談の有無	83
問 4－1	福祉職場で働く方から相談があった場合の答え・アドバイス	84
問 4－2	福祉職場で働く方から相談があった際、「後ろ向きの情報提供・助言を行った」、「相談内容によって対応を変えた」場合、その理由	84

問 5	家族等が福祉職場に入職前と入職後の、福祉の仕事に対するイメージの変化の有無	86
問 5-1	福祉の仕事に対するイメージの変化の内容	86
問 5-2	入職前の福祉の仕事に対するイメージ	89
問 6	福祉の仕事（業界）に対する要望	91
問 6-1	問 6 の回答の内、特に重視するもの（最大 3 つ）	93
問 7	家族などの介護経験の有無	94
問 8	福祉の仕事の経験の有無	95
問 8-1	福祉の仕事の経験がある場合の就労時期	96
問 9	福祉の職場がより魅力的に見えるようにするために必要なこと	100
3.	ペア調査	103
4.	教員等向け調査	110
問 4	令和 5 年度の就職者の有無	110
問 4-1	令和 5 年度の卒業者の就職者数	110
問 4-2	令和 5 年度の就職者の内、福祉分野への就職者数	110
問 4-3	学生・生徒が就職先を決める際、特定の福祉関係の法人（事業所）に対する相談あるいは、福祉業界全体に関する相談の有無	111
問 4-4	学生・生徒からの就職相談があった場合の答え・アドバイス	111
問 4-5	学生・生徒からの就職相談があった際、「相談者全員に後ろ向きの情報提供・助言を行った」場合、その理由	113
問 4-6	学生・生徒からの就職相談があった際、「相談者・内容によって対応を変えた」場合の対応内容	113
問 5	福祉の仕事や労働環境に対する印象	113
問 5-1	福祉の仕事や労働環境の良い印象の内容	115
問 5-2	福祉の仕事や就労条件の良い印象の内容	116
問 5-3	福祉の仕事や労働環境の悪い印象の内容	117
問 5-4	福祉の仕事や就労条件の悪い印象の内容	119
問 6	日頃の教育（授業や部活など）の中で、地域の福祉施設・事業所との関わりの有無	120
問 6-1	問 6 で関りがある場合、その関わり方	121
問 6-2	キャリア教育以外での地域の福祉施設・事業所との関わりについて、その頻度や内容	121
問 7	福祉業界における処遇改善に向けた取り組みが行われていることへの認識の有無	123
問 8	福祉の仕事（業界）に対する要望	125
問 8-1	問 8 の回答の内、特に重視するもの（最大 3 つ）	126
問 9	福祉の職場がより魅力的に見えるようにするために必要なこと	127

Ⅲ. これからの福祉人材の確保・定着に向けて.....	129
Ⅳ. 巻末資料	
1. 福祉人材確保に向けた若者と取り巻く関係者への意識等調査 実施要領.....	131
2. 福祉人材確保に向けた若者と取り巻く関係者への意識等調査 【調査票1 若手職員向け】	133
3. 福祉人材確保に向けた若者と取り巻く関係者への意識等調査 【調査票2 家族等向け】	145
4. 福祉人材確保に向けた若者と取り巻く関係者への意識等調査 【調査票3 教員等向け】	150

I. アンケート調査の概要

1. 調査の趣旨・目的

少子高齢化の進行により、福祉・介護業界はニーズの多様化と需要量の増加が同時進行しており、人材の安定的な確保が喫緊の課題となっている。しかし、現役世代人口、とりわけ若年人口が急速に減少するなかで、労働力の確保は難しい状況にある。

そこで本調査は、今後の福祉人材の確保・育成・定着に関する対策を立てるために、県内の福祉施設・事業所で働く、とりわけ若年層の職員の仕事や働き方に関する考え方、職場への希望、就業継続の要件や就職・転職の経緯等を把握することを目的とする。

この目的を達成するため、併せて学校の進路担当教員や家族等の福祉職場に対する意識や、職業・就職先選択の際の影響等についても実態を把握する。

2. 実施主体

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会

3. 調査対象

①県内の福祉施設・事業所に勤務し、日常的に利用者の支援に直接にあたっている、就職後概ね5年以内かつ30歳以下の職員（以下、「若手職員」という）。

※「派遣職員」を除く「正規職員」及び「非正規職員」。

②①の家族等（例：父母、祖父母、兄弟など）

③県内の中等教育学校、高等学校、高等専門学校、専門学校、短期大学、大学の進路担当教員等（以下、「教員等」という）。

4. 調査内容

別紙、巻末の調査票のとおり。

5. 調査方法

①調査票を次の対象に送付する。

ア若手職員

・茨城県社会福祉協議会（以下、県社協という）が調査票を県内の福祉施設・事業所に郵送し、福祉施設・事業所が調査票を職員に配布する。無記名でGoogleフォームにより回答をする調査方法とする。

・福祉施設・事業所に所属する、経験年数が概ね5年未満の若手職員を対象とする（無記名）。

イ家族等

・県社協が調査票を福祉施設・事業所に郵送する3-①で対象とした若手職員からその家族等に転送する。無記名でGoogleフォームにより回答をする調査方法とする。

ウ教員等

・県社協が調査票を県内の中等教育学校、高等学校、高等専門学校、専門学校、短期大学、大学の進路指導担当に郵送する。学校名記名（公表は行わない）でGoogleフォームにより回

答をする調査方法とする。

- ・回答は、1校あたり1名とする。

②上記①ア及びイの調査を依頼する通知文のQRコード上部に、それぞれ通し番号を付し、アとイが同じ番号を回答することで関連付けをする（ペア調査）。

6. 基準日

令和6年12月1日

7. 調査期間

令和6年12月16日～令和7年1月15日

8. 回収状況

県内5,570件の福祉施設・事業所及び211件の学校に送付し、回収状況は次のとおり。

なお、特に高齢系及び障害系の福祉施設事業所から、「調査の対象となる若手職員がいない」旨、正確な件数を把握したものではないが、100件程度の電話連絡を受けた。

- ①若手職員 回答件数1,006件（内有効回答件数943件）
- ②家族等 回答件数686件（内有効回答件数671件）
- ③ペア調査 対象件数533件（内有効回答件数518件）
- ④教員等 回答件数101件

9. データの集計等

- ・各設問に、以下により回答形式記号を付している。

【SA】単回答（設問内の選択肢より、1つのみ回答）

【MA】複数回答（設問内の選択肢より、当てはまるもの全てを回答）

【FA】自由記述（意見等を自由に記述）

- ・各回答における構成比は、各回答数を、「不明」、「無回答」を除く有効回答数で除して算出している。
- ・複数回答を可能としている設問については、各選択肢の選択割合の合計が100%とならない場合がある。
- ・自由記載については、回答集約の際に、主旨を変えない範囲で表現を変更している場合がある。

10. 回答者の属性等概要

①若手職員 回答件数1,006件（内有効回答件数：943件）

- ・図表1-1は、問2と問3でたずねた、性別及び年齢別の回答数を示している。回答は男性よりも女性が多い。最も多いのは23歳女性が122件、最も少ないのは18歳と20歳の男性で2件となる。また、性別で「その他」を選んだ方が2件となっている。
- ・図表1-2は、問4と問4-1でたずねた、最終学歴及び福祉・医療の学部・学科の専攻別の回答数を示している。最も多いのは「大学」で318件となっており、次いで「短大」が255件、「専門学校」が180件となっている。また、最終学歴が「短大」の場合に、福祉・医療を専攻していた割合が高くなっている。

- ・回答者の勤務先種別は、最も多いのは「児童（保育所・こども園）」で371件となっており、これに伴い、回答者の職種も「保育士」が407件と高くなっている。そのため、調査結果の項目の一部において、「児童（保育所・こども園）」や「保育士」を強調または注目した表示としている。
- ・現在の雇用形態で最も多いのは「正規職員」で851件（90.5%）となっており、次いで「無期契約のフルタイム雇用（正規職員以外）」が36件（3.8%）、「無期契約の短時間雇用」「有期契約の短時間雇用」が20件（2.1%）となっている。

図表 1-1 性別・年齢別（件）[n=936]

上段:度数 下段:%		年齢を教えてください。													
		合計	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳
性別を次から1つだけ選んでください	全体	936 100.0	5 0.5	12 1.3	16 1.7	68 7.3	98 10.5	135 14.4	129 13.8	111 11.9	96 10.3	84 9.0	78 8.3	60 6.4	44 4.7
	女	743 100.0	3 0.4	6 0.8	14 1.9	60 8.1	84 11.3	122 16.4	104 14.0	95 12.8	69 9.3	61 8.2	52 7.0	46 6.2	27 3.6
	男	191 100.0	2 1.0	6 3.1	2 1.0	8 4.2	14 7.3	13 6.8	25 13.1	16 8.4	26 13.6	22 11.5	26 13.6	14 7.3	17 8.9
	その他	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-

図表 1-2 最終学歴・専攻別（件）[n=934]

上段:度数 下段:%		問4の最終学歴で、福祉・医療の学部・学科を先行していましたか。次から1つだけ選んでください。			
		合計	福祉（介護・保育も含む）を専攻した	医療を専攻した	いずれも専攻してはいない
最終学歴を次から1つだけ選んでください。	全体	934 100.0	547 58.6	82 8.8	305 32.7
	大学	318 100.0	184 57.9	33 10.4	101 31.8
	短大	255 100.0	222 87.1	4 1.6	29 11.4
	専門学校	180 100.0	105 58.3	40 22.2	35 19.4
	高校	166 100.0	35 21.1	3 1.8	128 77.1
	その他	15 100.0	1 6.7	2 13.3	12 80.0

図表 1-3 回答者の勤務先種別（件）[n=935]

種別	件数	%	種別	件数	%
高齢者（入所系）	153	16.4	障害者（訪問系）	4	0.4
高齢者（通所系）	49	5.2	児童（保育所・こども園）	371	39.7
高齢者（訪問系）	33	3.5	児童（保育所・こども園以外）	53	5.7
障害児・者（入所系）	91	9.7	その他	31	3.3
障害児・者（通所系）	150	16.0			

【その他回答】

地域包括支援センター / 社会福祉協議会

図表 1-4 回答者の職種（件）[n=938]

職種	件数	%
介護職	175	18.7
訪問介護員	10	1.1
保育士	407	43.4
児童指導員	75	8.0
相談員	16	1.7
生活支援員	100	10.7
指導員	24	2.6
看護職	35	3.7
事務職	24	2.6
リハビリ専門職	28	3.0
その他	44	4.7

【その他回答】

栄養士 / 精神保健福祉士 / 保育補助 / 管理者 / 心理担当職員 / サービス提供責任者
保育教諭 / 機能訓練指導員 / 世話人 / 障害者支援専門員

図表 1-5 福祉分野での業務経験年数（件）[n=941]

福祉分野での業務経験年数	件数	%
1 年未満	290	30.8
1 年以上から 3 年未満	260	27.6
3 年以上から 5 年未満	251	26.7
5 年以上	140	14.9

図表 1-6 回答者の雇用形態（件）[n=941]

雇用形態	件数	%
正規職員	851	90.4
無期契約のフルタイム雇用（正規職員以外）	36	3.8
無期契約の短時間雇用	20	2.1
有期契約のフルタイム雇用	14	1.5
有期契約の短時間雇用	20	2.1

図表 1-7 最終学歴別で見た雇用形態

大学	上段:度数	現在の雇用形態はなんですか。次から1つだけ選んでください。					
	下段:%	合計	正規職員	無期契約のフルタイム雇用(正規職員以外)	無期契約の短時間雇用	有期契約のフルタイム雇用	有期契約の短時間雇用
問4の最終学歴で、福祉・医療の学部・学科を先行していましたか。次から1つだけ選んでください。	全体	317 100.0	294 92.7	10 3.2	4 1.3	- -	9 2.8
	福祉(介護・保育も含む)を専攻した	183 100.0	173 94.5	4 2.2	2 1.1	- -	4 2.2
	医療を専攻した	33 100.0	30 90.9	1 3.0	- -	- -	2 6.1
	いずれも専攻していない	101 100.0	91 90.1	5 5.0	2 2.0	- -	3 3.0
短大	上段:度数	現在の雇用形態はなんですか。次から1つだけ選んでください。					
	下段:%	合計	正規職員	無期契約のフルタイム雇用(正規職員以外)	無期契約の短時間雇用	有期契約のフルタイム雇用	有期契約の短時間雇用
問4の最終学歴で、福祉・医療の学部・学科を先行していましたか。次から1つだけ選んでください。	全体	255 100.0	241 94.5	5 2.0	3 1.2	4 1.6	2 0.8
	福祉(介護・保育も含む)を専攻した	222 100.0	209 94.1	5 2.3	2 0.9	4 1.8	2 0.9
	医療を専攻した	4 100.0	3 75.0	- -	1 25.0	- -	- -
	いずれも専攻していない	29 100.0	29 100.0	- -	- -	- -	- -
専門学校	上段:度数	現在の雇用形態はなんですか。次から1つだけ選んでください。					
	下段:%	合計	正規職員	無期契約のフルタイム雇用(正規職員以外)	無期契約の短時間雇用	有期契約のフルタイム雇用	有期契約の短時間雇用
問4の最終学歴で、福祉・医療の学部・学科を先行していましたか。次から1つだけ選んでください。	全体	179 100.0	160 89.4	8 4.5	3 1.7	4 2.2	4 2.2
	福祉(介護・保育も含む)を専攻した	105 100.0	97 92.4	4 3.8	- -	2 1.9	2 1.9
	医療を専攻した	39 100.0	34 87.2	2 5.1	2 5.1	- -	1 2.6
	いずれも専攻していない	35 100.0	29 82.9	2 5.7	1 2.9	2 5.7	1 2.9
高校	上段:度数	現在の雇用形態はなんですか。次から1つだけ選んでください。					
	下段:%	合計	正規職員	無期契約のフルタイム雇用(正規職員以外)	無期契約の短時間雇用	有期契約のフルタイム雇用	有期契約の短時間雇用
問4の最終学歴で、福祉・医療の学部・学科を先行していましたか。次から1つだけ選んでください。	全体	166 100.0	137 82.5	10 6.0	10 6.0	4 2.4	5 3.0
	福祉(介護・保育も含む)を専攻した	35 100.0	31 88.6	2 5.7	2 5.7	- -	- -
	医療を専攻した	3 100.0	3 100.0	- -	- -	- -	- -
	いずれも専攻していない	128 100.0	103 80.5	8 6.3	8 6.3	4 3.1	5 3.9

②家族等 回答件数 686 件（内有効回答件数：671 件）

図表 2-1 回答者と福祉職場で働く方との関係（続柄）（件）[n=655]

続柄	件数	%
父	111	16.9
母	441	67.3
その他	103	15.7

【その他回答】

配偶者 / 兄弟姉妹 / 祖父母 / 義父 / 恋人 / 同居人

③教員等 回答件数 101 件

図表 3-1 学校種別・専攻別

上段:度数		3貴校には令和6年4月1日現在で福祉・医療を専攻する学部・学科がありますか。次から1つだけ選んでください。				
下段:%		合計	福祉(介護・保育も含む)の専攻がある	医療の専攻がある	両方の専攻がある	ない
2貴校の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	98 100.0	6 6.1	14 14.3	2 2.0	76 77.6
	中等教育学校	2 100.0	-	-	-	2 100.0
	全日制高等学校	65 100.0	3 4.6	4 6.2	-	58 89.2
	定時制高等学校	6 100.0	-	-	-	6 100.0
	通信制高等学校	2 100.0	-	-	-	2 100.0
	高等専門学校	-	-	-	-	-
	専門学校	16 100.0	2 12.5	7 43.8	1 6.3	6 37.5
	短期大学	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0
	大学	5 100.0	-	3 60.0	1 20.0	1 20.0

11. 調査結果概要

①若手職員向け調査結果概要

【性別による職場での困りごと】

- ・性別による職場での困りごとについて、女性の方が「困りごとはない」と回答する割合が高く、男性では「同僚からのいじめ、嫌がらせ」や「利用者との関係」に関する困りごとが多いことが目立つ。また、女性は更衣室に、男性はトイレに関する困りごとがやや多い傾向にあり、これは職場における性別特有の問題が存在することが分かる。

【残業時間・有給休暇】

- ・残業時間については、「10 時間以内」の残業にとどまるとの回答が多い傾向にあるが、保育所やこども園等の子ども関連の施設では残業が多いことが課題となっている。有給休暇の取りやすさについても、職種や勤務先の種別によって差異が見られ、高齢者施設では取りやすい一方、保育士や児童指導員は3人に1人が取りにくいと回答した。

【賃金満足度】

- ・賃金に対する不満は強く、特に女性の賃金満足度が低くなっている。手当についても、介護職や保育士など職種によって支給される手当の種類や額に差があり、特に夜勤手当や資格手当の支給が職種ごとに異なることがわかる。

【福祉の仕事を目指そうと思った時期】

- ・およそ3分の2が高校生までに福祉の仕事を目指そうとしたと回答している。この時期に福祉の仕事を認識、経験することが、福祉の仕事を職業として選択するための重要な時期となることが伺える。

【転職理由】

- ・福祉分野内での転職経験がある職員の割合が一定数あり、特に「人間関係のトラブル」や「精神的負担」、「賃金」などに関する不満が主要な動機となっているため、福祉分野における労働環境や就労条件の改善が求められる。

【家族等の福祉の仕事に対する印象の変化】

- ・福祉の仕事に就いた後、家族等の理解と応援が増えたというポジティブな変化が多く見られる一方で、賃金などの就労条件への不満や精神的・肉体的負担に対する心配も増えている。

【現在の勤務先の入職動機・やりがい】

- ・多くの職員が「自宅からの交通の便が良い」、「やりがいのある職場だと思った」などの理由で現在の勤務先を選んでいる。利用者の笑顔や成長を実感できることがやりがいと感じられる一方で、賃金や労働環境の悪さがやりがいを損なう要因となっている。

【要望】

- ・総じて、「賃金」や「労働環境の改善」が求められている。特に賃金の向上は多くの職員から強く求められており、これを実現することで職員の満足度向上や離職率の低下が期待される。

②家族等向け調査結果概要

【福祉の仕事に対する印象】

- ・家族等の福祉の仕事に対する印象は、「どちらとも言えない」が最多で、次いで「良い印象」と「悪い印象」が続いている。ポジティブな面としては、「人や社会に役立つ」ことが最も高く評価されており、「利用者やその家族に感謝される」ことや「利用者が笑顔になる」ことも挙げられている。また、就労条件に関しても「働きやすい労働時間」や「研修機会・資格取得の支援」が評価されている。
- ・一方で、ネガティブな面も多く指摘されており、特に「仕事がきつい（体力的）」、「仕事がきつい（精神的）」、「人間関係のトラブルがある」が挙げられている。就労条件に関しても「賃金水準」が最も印象の悪化している要因となっており、「働きやすい労働時間（シフト）」と評価される一方で、「不規則な労働時間（シフト）」や「各種手当（資格・通勤手当等）」の不足も懸念されている。若手職員の転職動機の調査結果で明らかにされたとおり、これらの問題は、転職を検討する理由として、同様に高い要因として挙げられている。
- ・労働環境や就労条件に関する意見は、ポジティブなものとネガティブなものが混在している。ポジティブな意見としては、「職場環境が良い」、「本人の成長が見られる」、「やりがいがある」、

「身体的負担が少ない」などがある。

- ・一方で、ネガティブな意見としては、「労働条件が悪い」、「賃金が低い」、「精神的・身体的負担が大きい」、「仕事量が多い」、「労働時間が長い」などが挙げられている。
- ・若手職員が入職する前のネガティブなイメージの多さに加えて、入職後のネガティブなイメージへの変化の多さからも、改善への対応が急がれる。

【福祉の仕事を就職先として決める際の相談対応】

- ・若手職員が就職先を決める際に家族等に相談することが多く、その際には多くの家族等が「本人の意思を尊重する」姿勢を見せている。しかし、福祉の仕事に対する現実的な問題点、「賃金の低さや労働条件の厳しさ」や「精神的・身体的負担の大きさ」を伝える助言も多く見られている。

【要望】

- ・福祉業界全体の改善点として、「賃金の向上」、「人手不足の解消」、「就労条件の改善」、「労働環境の改善」が求められている。特に賃金の低さは多くのコメントで指摘されており、生活の厳しさや仕事量に見合わないと感じる家族等が多い。これらの問題を解決するためには、政策的な支援や業界全体での取り組みが必要と考えられる。また、労働環境では、職員間のコミュニケーションの充実や人間関係の改善も重要となる。

③教員等向け調査結果概要

【福祉の仕事に対する印象】

- ・福祉の仕事や労働環境についての印象では、「どちらとも言えない」が最多で、次いで「悪い印象」、「良い印象」が続いている。良い印象としては「人や社会に役立つ」や「利用者やその家族に感謝される」が挙げられているが、悪い印象としては「仕事がきつい（体力的）」、「仕事がきつい（精神的）」、「夜勤・宿直が多い」が挙げられている。
- ・就労条件については、「研修機会・資格取得の支援」や「各種手当（資格・通勤手当等）」に良い印象があり、「賃金水準」や「不規則な労働時間（シフト）」に悪い印象がある。

【福祉の仕事を就職先として決める際の相談対応】

- ・学生・生徒が福祉分野への就職先を決める際に受けた相談については、およそ3分の2が前向きに勧めており、残りの3分の1は相談者や内容によって対応を変えているが、それもほとんどが前向きに勧めている。

【要望】

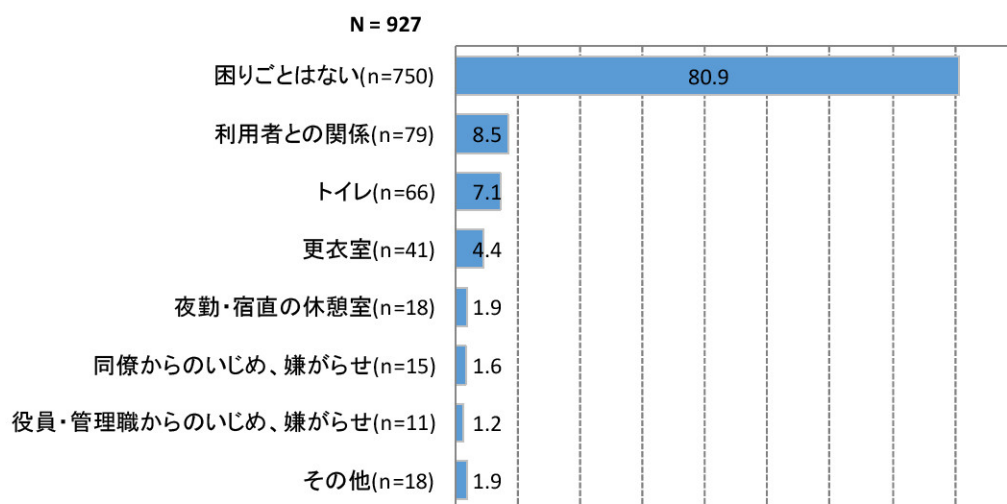
- ・福祉業界に対する最大の要望は「賃金の改善」であり、次いで「労働時間・休憩時間の改善」や「利用者や利用者家族からのハラスメント対策」が挙げられている。これらの要望に対応することは、業界全体のイメージ向上と人材確保につながると考えられる。

Ⅱ. アンケート調査結果

1. 若手職員向け調査

問2-1 性別を理由とした職場での困りごとはありませんか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・性別を理由とした職場での困りごとについて、最も多いのは「困りごとはない」で 750 件（80.9%）となっており、次いで「利用者との関係」が 79 件（8.5%）、「トイレ」が 66 件（7.1%）となっている。



【その他回答】

【人間関係】

女性が多いので影で悪口を言われる不安がある / 陰口 / 同僚からのアプローチが強く職場を荒らしたくないためあからさまに拒否が難しい / 女性社会なこと / 上の人から挨拶や話を無視される

【利用者関係】

排尿時のサポート / 利用者からのハラスメント発言が目立つ / 男性利用者からのセクハラ / 異性の利用者への排便

【ハラスメント】

年の離れた異性からのしつこい連絡・ボディタッチ / 上の役職が男性のため見た目で好かれている人が優遇されることがある / 上からのパワハラ

【その他】

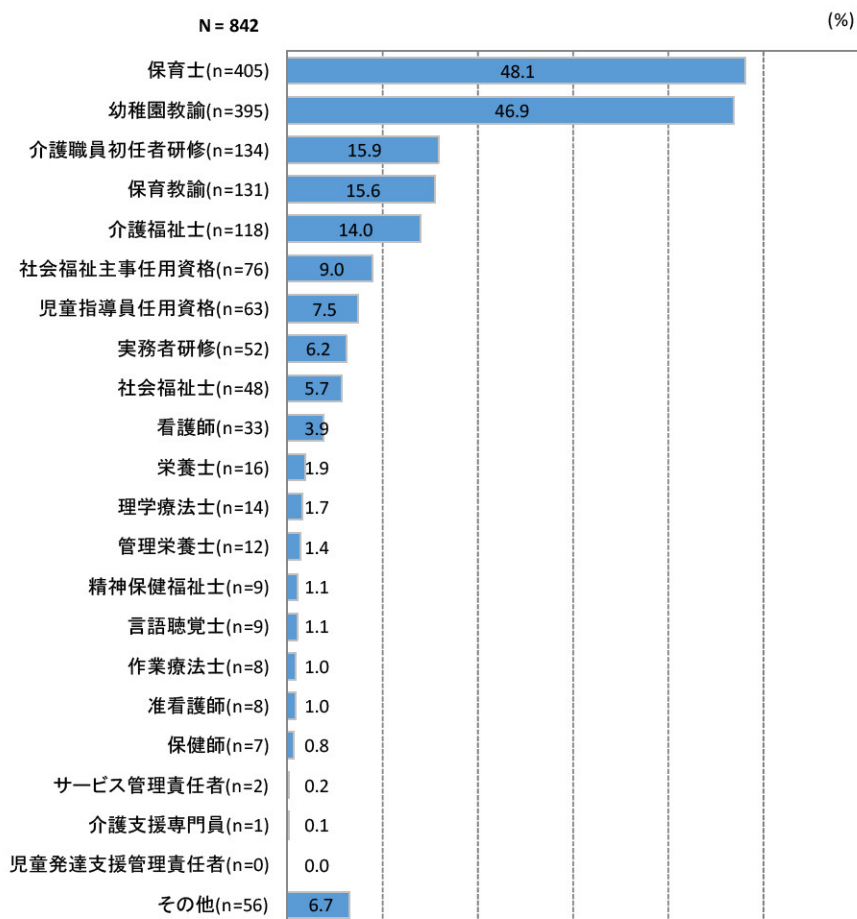
生理痛が重い / 性別とは関係ないが新しい人が入るとその人に対して新人いじめをする人がある / 特別浴槽 / 男女平等参画社会ではないところ / プール

- ・職場での困りごとと性別の関連を見ると、全体として、困りごとがないと回答した割合が最も高く、特に女性（82.3%）が男性（75.8%）より高い。男性は「同僚からのいじめ、嫌がらせ」（3.2%）や「利用者との関係」（12.6%）において女性よりも高い割合を示している。女性は「更衣室」に関する困りごとが男性よりもやや高い割合となっている。

上段:度数		性別を理由とした職場での困りごとはありませんが、当てはまるものを全て選んでください。								
下段:%		合計	困りごとはない	トイレ	更衣室	夜勤・宿直の休憩室	同僚からのいじめ、嫌がらせ	役員・管理職からのいじめ、嫌がらせ	利用者との関係	その他
性別を次から1つだけ選んでください	全体	920 100.0	745 81.0	65 7.1	40 4.3	18 2.0	14 1.5	10 1.1	77 8.4	18 2.0
	女	728 100.0	599 82.3	50 6.9	33 4.5	13 1.8	8 1.1	7 1.0	53 7.3	14 1.9
	男	190 100.0	144 75.8	15 7.9	7 3.7	5 2.6	6 3.2	3 1.6	24 12.6	4 2.1
	その他	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-

問7 保有している資格はなんですか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・保有している資格について、最も多いのは「保育士」で405件（48.1%）となっており、次いで「幼稚園教諭」が395件（46.9%）、「介護職員初任者研修」が134件（15.9%）となっている。

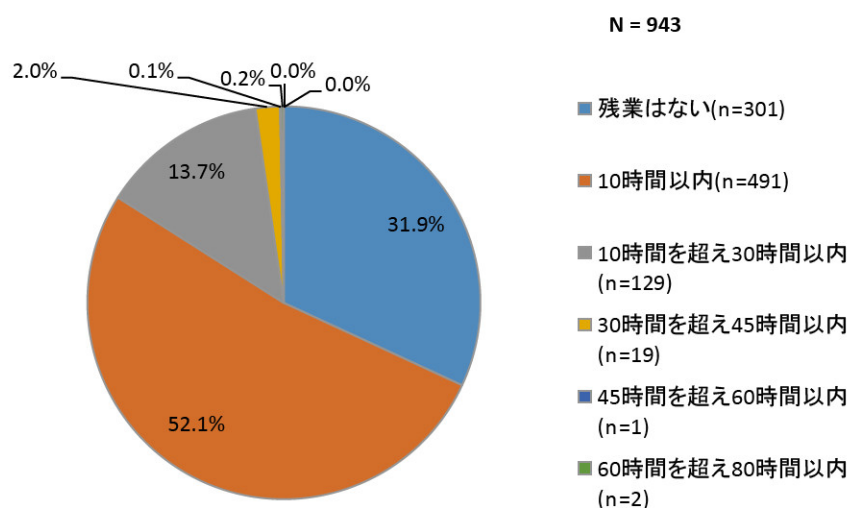


【その他回答】

ベビーシッター / 子育て支援員 / こども音楽療育士 / 音楽療法士 / リトミック指導者 / 認定絵本士 / 幼児体育指導員 / 放課後支援員 / 公認心理師 / 臨床心理士 / 准学校心理士 / 特別支援学校教諭一種免許 / 特別支援学校教諭二種 / 養護教諭一種 / 小学校教諭一種 / 中高教員免許 / 真宗大谷派教師資格 / 認知症介護基礎研修 / ヘルパー2級 / 介護職員初任者研修 / 介護教員修了 / 認知症ケア専門士 / 介護職アドバイザー / 同行援護 / 強度行動障害支援者 / 食品衛生責任者 / 食品衛生管理者 / 社会福祉主事 / 知的障害者福祉司任用資格 / 調理師 / ピアヘルパー / レクリエーションインストラクター / 鍼灸師 / 柔道整復師 / 防災士

問9 残業時間は、毎月の平均で何時間くらいですか。次から1つだけ選んでください。
【SA】

- ・残業時間について、最も多いのは「10時間以内」で491件（52.1%）となっており、次いで「残業はない」が301件（31.9%）、「10時間を超え30時間以内」が129件（13.7%）となっている。



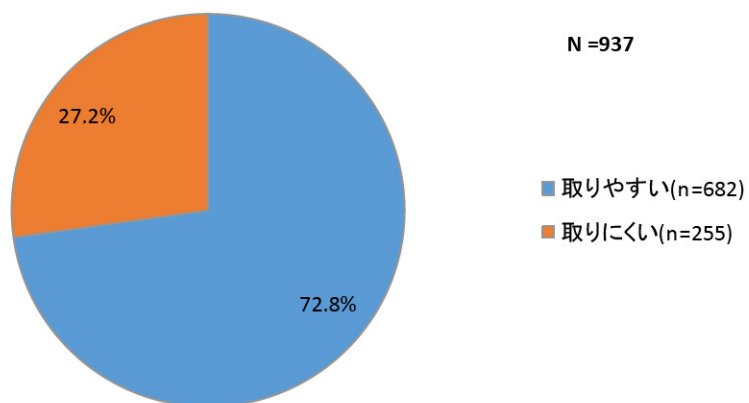
残業時間×勤務先種別（正規職員）、残業時間×職種（正規職員）

- ・正規職員の残業時間と勤務先種別および職種別の関連を見ると、全体として、54.2%が「10時間以内」の残業と回答し、28.7%が「残業はない」としている。勤務先種別では、高齢者（入所系）で「10時間以内」の残業が59.3%と高く、高齢者（訪問系）でも同様の傾向が見られる。児童（保育所・こども園）では「10時間以内」が57.1%と高い一方、残業がない割合は23.8%と他の種別に比べて低い。
- ・職種別では、介護職の36.0%が「残業はない」と回答し、52.7%が「10時間以内」の残業と回答している。保育士の56.8%が「10時間以内」と回答し、残業がない割合は24.3%。児童指導員では「10時間を超え30時間以内」の残業が25.4%と比較的高い。

正規職員		残業時間は、毎月の平均で何時間くらいですか。次から1つだけ選んでください。									
上段:度数		合計	残業はない	10時間以内	10時間を超え30時間以内	30時間を超え45時間以内	45時間を超え60時間以内	60時間を超え80時間以内	80時間を超え100時間未満	100時間以上	
下段:%											
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	843 100.0	242 28.7	457 54.2	123 14.6	18 2.1	1 0.1	2 0.2	-	-	
	高齢者(入所系)	135 100.0	46 34.1	80 59.3	8 5.9	1 0.7	-	-	-	-	
	高齢者(通所系)	41 100.0	13 31.7	20 48.8	7 17.1	1 2.4	-	-	-	-	
	高齢者(訪問系)	30 100.0	9 30.0	16 53.3	5 16.7	-	-	-	-	-	
	障害児・者(入所系)	78 100.0	28 35.9	39 50.0	10 12.8	1 1.3	-	-	-	-	
	障害児・者(通所系)	132 100.0	43 32.6	63 47.7	22 16.7	3 2.3	-	1 0.8	-	-	
	障害者(訪問系)	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-	-	-	
	児童(保育所・こども園)	345 100.0	82 23.8	197 57.1	56 16.2	9 2.6	1 0.3	-	-	-	
	児童(保育所・こども園以外)	50 100.0	12 24.0	26 52.0	11 22.0	1 2.0	-	-	-	-	
	その他	28 100.0	7 25.0	14 50.0	4 14.3	2 7.1	-	1 3.6	-	-	
	現在の職種を次から1つだけ選んでください。	全体	846 100.0	244 28.8	457 54.0	124 14.7	18 2.1	1 0.1	2 0.2	-	-
		介護職	150 100.0	54 36.0	79 52.7	15 10.0	2 1.3	-	-	-	-
訪問介護員		9 100.0	3 33.3	5 55.6	1 11.1	-	-	-	-	-	
保育士		387 100.0	94 24.3	220 56.8	62 16.0	9 2.3	1 0.3	1 0.3	-	-	
児童指導員		67 100.0	16 23.9	30 44.8	17 25.4	3 4.5	-	1 1.5	-	-	
相談員		16 100.0	3 18.8	9 56.3	4 25.0	-	-	-	-	-	
生活支援員		86 100.0	28 32.6	43 50.0	12 14.0	3 3.5	-	-	-	-	
指導員		16 100.0	5 31.3	11 68.8	-	-	-	-	-	-	
看護職		32 100.0	7 21.9	19 59.4	6 18.8	-	-	-	-	-	
事務職		23 100.0	9 39.1	12 52.2	1 4.3	1 4.3	-	-	-	-	
リハビリ専門職		27 100.0	9 33.3	14 51.9	4 14.8	-	-	-	-	-	
その他		33 100.0	16 48.5	15 45.5	2 6.1	-	-	-	-	-	

問 10 有給休暇は取りやすいですか。次から 1 つだけ選んでください。【SA】

- ・有給休暇の取りやすさについて、「取りやすい」が 682 件（72.8%）、「取りにくい」が 255 件（27.2%）となっている。



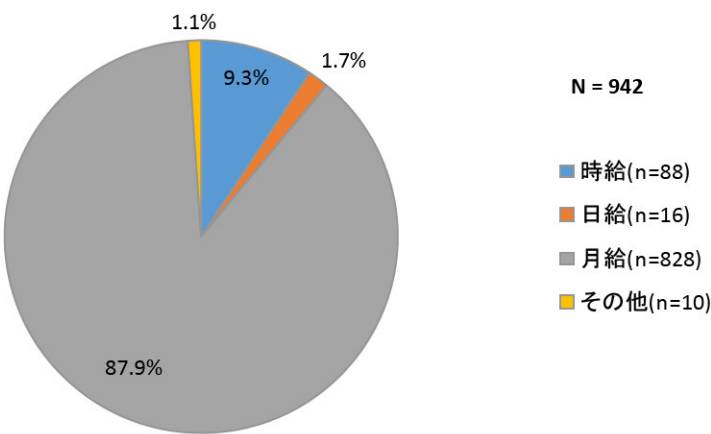
有給休暇の取りやすさ×勤務先種別（正規職員）、有給休暇の取りやすさ×職種（正規職員）

- ・有給休暇の取りやすさと勤務先種別および職種別の関連を見ると、全体では 72.5%が「取りやすい」と回答しているが、勤務先種別によって差異が見られる。高齢者（入所系）では 80.7%、高齢者（通所系）では 85.0%、高齢者（訪問系）では 90.0%、障害者（訪問系）では 100.0%が「取りやすい」と回答している。一方、児童（保育所・こども園）では 64.8%、児童（保育所・こども園以外）では 56.0%と低めである。
- ・職種別では、事務職 95.7%、相談員 92.9%、訪問介護員 88.9%、指導員 87.5%、看護職 87.5%が比較的高い割合で「取りやすい」と回答している。保育士 35.5%や児童指導員 34.3%は他の職種に比べて「取りにくい」と感じている割合が高い。

正規職員	上段:度数	有給休暇は取りやすいですか。次から1つだけ選んでください。		
	下段:%	合計	取りやすい	取りにくい
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	840 100.0	609 72.5	231 27.5
	高齢者(入所系)	135 100.0	109 80.7	26 19.3
	高齢者(通所系)	40 100.0	34 85.0	6 15.0
	高齢者(訪問系)	30 100.0	27 90.0	3 10.0
	障害児・者(入所系)	78 100.0	57 73.1	21 26.9
	障害児・者(通所系)	132 100.0	106 80.3	26 19.7
	障害者(訪問系)	4 100.0	4 100.0	- -
	児童(保育所・こども園)	344 100.0	223 64.8	121 35.2
	児童(保育所・こども園以外)	50 100.0	28 56.0	22 44.0
	その他	27 100.0	21 77.8	6 22.2
現在の職種を次から1つだけ選んでください。	全体	843 100.0	611 72.5	232 27.5
	介護職	150 100.0	116 77.3	34 22.7
	訪問介護員	9 100.0	8 88.9	1 11.1
	保育士	386 100.0	249 64.5	137 35.5
	児童指導員	67 100.0	44 65.7	23 34.3
	相談員	14 100.0	13 92.9	1 7.1
	生活支援員	86 100.0	70 81.4	16 18.6
	指導員	16 100.0	14 87.5	2 12.5
	看護職	32 100.0	28 87.5	4 12.5
	事務職	23 100.0	22 95.7	1 4.3
	リハビリ専門職	27 100.0	19 70.4	8 29.6
	その他	33 100.0	28 84.8	5 15.2

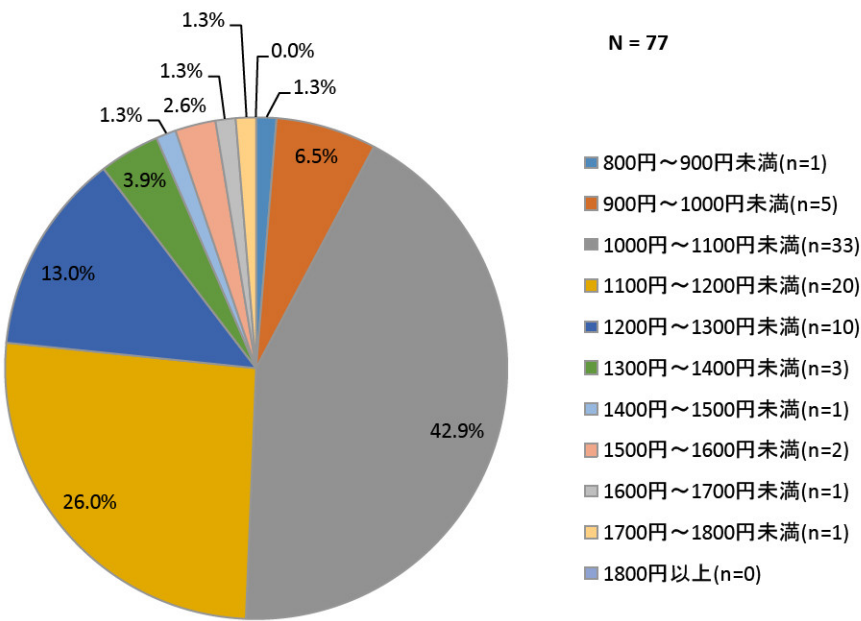
問 11 賃金の支給形態はなんですか。次から1つだけ選んでください。【SA】

・賃金の支給形態について、最も多いのは「月給」で 828 件（87.9%）となっており、次いで「時給」が 88 件（9.3%）、「日給」が 16 件（1.7%）となっている。



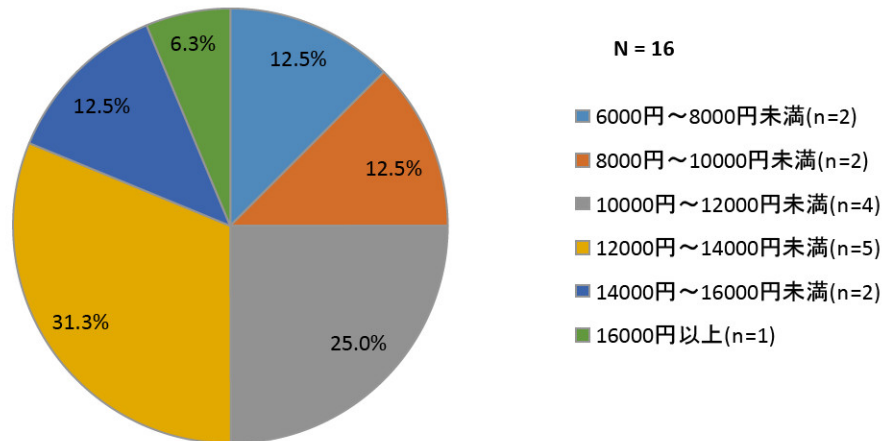
問 11－1 問 11 で「1」を選んだ方のみお答えください。1 時間当たりの金額（税込）を教えてください（従事する仕事の内容や時間帯によって金額が異なる場合は、基本となる金額の平均値を記入してください。）【FA】

・時給について、最も多いのは「1000～1100 円未満」で 33 件（42.9%）となっており、次いで「1100～1200 円未満」が 20 件（26.0%）、「1200～1300 円未満」が 10 件（13.0%）となっている。



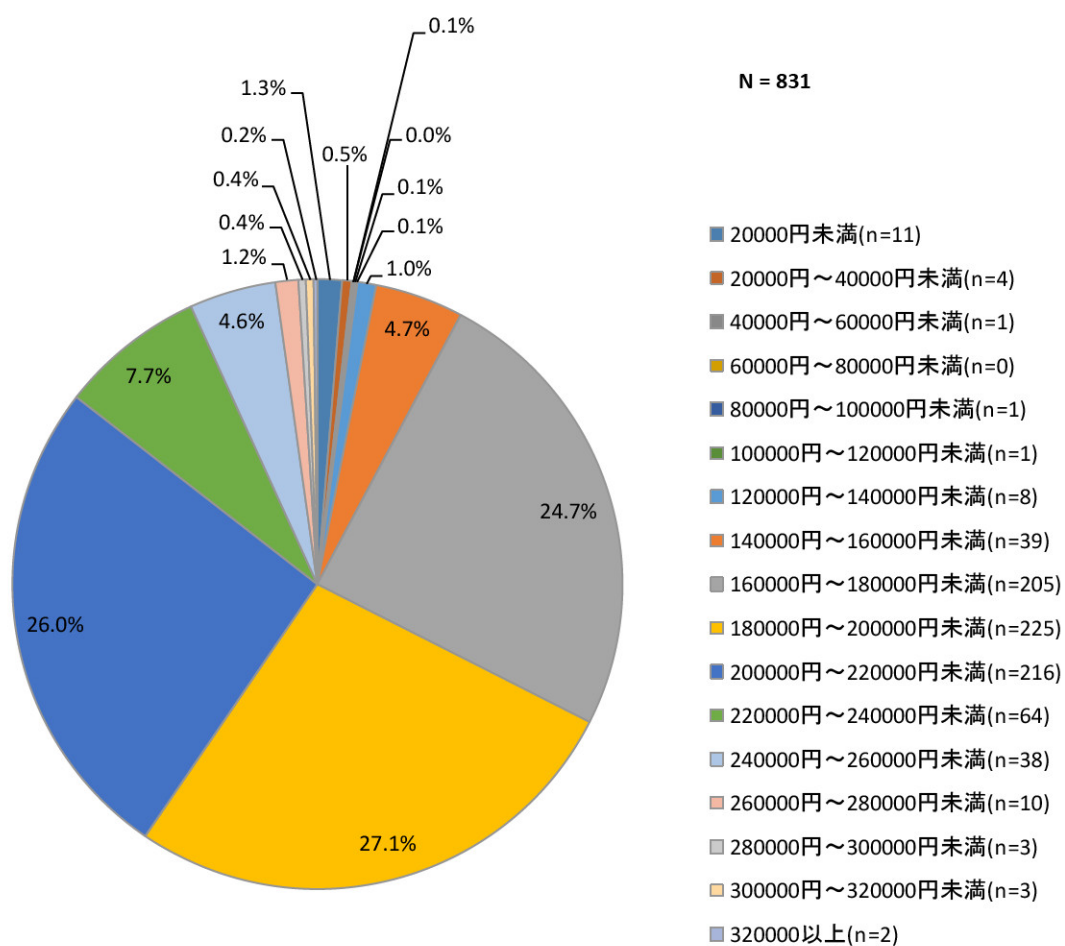
問 11－2 問 11 で「2」を選んだ方のみお答えください。1日当たりの金額（税込）を教えてください（従事する仕事の内容や時間帯によって金額が異なる場合は、基本となる金額の平均値を記入してください。）。【FA】

- ・日給について、最も多いのは「12000～14000 円未満」で 5 件（31.3%）となっており、次いで「10000～12000 円未満」が 4 件（25.0%）となっている。



問 11－3 問 11 で「3」及び「4」を選んだ方のみお答えください。1か月の基本給（税込）を教えてください（「4」を選んだ方は、1か月当たりの額を記入してください）。【FA】

- ・1か月当たりの基本給について、最も多いのは「180000～200000 円未満」で 225 件（27.1%）となっており、次いで「200000～220000 円未満」が 216 件（26.0%）、「160000～180000 円未満」が 205 件（24.7%）となっている。



基本給×勤務先種別

- 基本給と勤務先種別の関連を見ると、全体の 77.7%が 160000 円～220000 円未満の範囲に含まれており、その中でも「180000 円～200000 円未満」が 27.1%で最も高く、勤務先種別によって差異はあまり見られない。

上段: 度数		問11で「3」及び「4」を選んだ方のみお答えください。1か月当たりの基本給(税込)を教えてください。										
下段: %		合計	160000円未満	160000円～ 180000円未満	180000円～ 200000円未満	200000円～ 220000円未満	220000円～ 240000円未満	240000円～ 260000円未満	260000円～ 280000円未満	280000円～ 300000円未満	300000円～ 320000円未満	320000円以上
現在の勤務先 の種別を 次から1つ だけ選んでく ださい。	全体	824 100.0	65 7.9	205 24.9	223 27.1	212 25.7	63 7.6	38 4.6	10 1.2	3 0.4	3 0.4	2 0.2
	高齢者(入所系)	130 100.0	16 12.3	50 38.5	25 19.2	29 22.3	4 3.1	3 2.3	2 1.5	-	-	1 0.8
	高齢者(通所系)	38 100.0	4 10.5	9 23.7	9 23.7	12 31.6	2 5.3	2 5.3	-	-	-	-
	高齢者(訪問系)	31 100.0	4 12.9	1 3.2	6 19.4	8 25.8	7 22.6	3 9.7	-	1 3.2	1 3.2	-
	障害児・者(入所系)	77 100.0	4 5.2	26 33.8	20 26.0	14 18.2	4 5.2	6 7.8	2 2.6	-	1 1.3	-
	障害児・者(通所系)	119 100.0	7 5.9	30 25.2	31 26.1	26 21.8	11 9.2	13 10.9	1 0.8	-	-	-
	障害児・者(訪問系)	4 100.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-
	児童(保育所・こども園)	349 100.0	25 7.2	81 23.2	110 31.5	93 26.6	27 7.7	8 2.3	3 0.9	2 0.6	-	-
	児童(保育所・こども園以外)	48 100.0	4 8.3	7 14.6	15 31.3	13 27.1	5 10.4	2 4.2	1 2.1	-	-	1 2.1
	その他	28 100.0	-	1 3.6	6 21.4	17 60.7	3 10.7	1 3.6	-	-	-	-

※160000 円未満は集約した。

基本給×職種

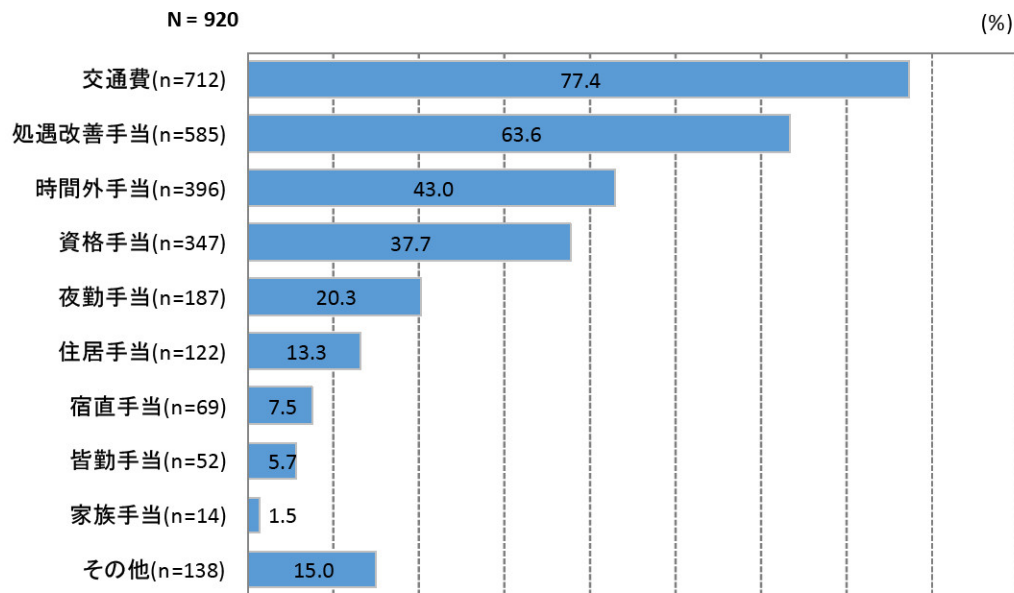
- 基本給と職種別の関連を見ると、「160000 円～180000 未満」で最も高いのが、介護職 51 件 (36.4%)、「180000 円～200000 未満」では、訪問介護員 3 件 (33.3%)、「200000 円～220000 未満」では相談員 9 件 (56.3%) となっており、職種によって差異が見られる。

上段: 度数		問11で「3」及び「4」を選んだ方のみお答えください。1か月当たりの基本給(税込)を教えてください。										
下段: %		合計	160000円未満	160000円～ 180000円未満	180000円～ 200000円未満	200000円～ 220000円未満	220000円～ 240000円未満	240000円～ 260000円未満	260000円～ 280000円未満	280000円～ 300000円未満	300000円～ 320000円未満	320000円以上
現在の職種 を次から1つ だけ選んでく ださい。	全体	827 100.0	65 7.9	203 24.5	225 27.2	214 25.9	64 7.7	38 4.6	10 1.2	3 0.4	3 0.4	2 0.2
	介護職	140 100.0	16 11.4	51 36.4	26 18.6	35 25.0	4 2.9	5 3.6	2 1.4	-	-	1 0.7
	訪問介護員	9 100.0	2 22.2	1 11.1	3 33.3	1 11.1	1 11.1	-	-	1 11.1	-	-
	保育士	385 100.0	27 7.0	89 23.1	121 31.4	102 26.5	31 8.1	11 2.9	2 0.5	2 0.5	-	-
	児童指導員	64 100.0	2 3.1	14 21.9	18 28.1	17 26.6	7 10.9	5 7.8	1 1.6	-	-	-
	相談員	16 100.0	1 6.3	1 6.3	4 25.0	9 56.3	1 6.3	-	-	-	-	-
	生活支援員	79 100.0	6 7.6	26 32.9	24 30.4	13 16.5	4 5.1	4 5.1	1 1.3	-	1 1.3	-
	指導員	15 100.0	-	2 13.3	4 26.7	6 40.0	1 6.7	2 13.3	-	-	-	-
	看護職	32 100.0	1 3.1	1 3.1	6 18.8	10 31.3	7 21.9	3 9.4	2 6.3	-	2 6.3	-
	事務職	23 100.0	3 13.0	6 26.1	4 17.4	6 26.1	4 17.4	-	-	-	-	-
	リハビリ専門職	28 100.0	2 7.1	3 10.7	5 17.9	7 25.0	3 10.7	5 17.9	2 7.1	-	-	1 3.6
	その他	36 100.0	5 13.9	9 25.0	10 27.8	8 22.2	1 2.8	3 8.3	-	-	-	-

※160000 円未満は集約した。

問 11-4 毎月決まって支払われる手当等について、当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・毎月決まって支払われる手当等について、最も多いのは「交通費」で 712 件（77.4%）となっており、次いで「処遇改善手当」が 585 件（63.6%）、「時間外手当」が 396 件（43.0%）となっている。



【その他回答】

地域手当 / 特殊業務手当 / 職務手当 / 業務手当 / ベースアップ手当 / 支援手当 / 固定残業手当 / ベースアップ加算 / 早番手当 / 遅番手当 / 調整手当 / オンコール手当 / 特別手当 / 役職手当 / 送迎手当 / 勤続手当 / 担任手当 / 技能手当 / 通信手当 / 特殊勤務手当 / 補助金手当 / 成果手当 / 支援実績手当 / 生涯設計手当 / 被服費 / 勤勉手当 / インセンティブ手当 / ベア支援手当 / 人事院勧告分 / 業務補助手当 / 処遇特例手当 / 級地手当 / 給食費手当 / 給食指導費 / 企画手当 / 精勤手当 / 臨時特例 / ベア・処改Ⅲ / 土浦市補助金 / 神栖市手当 / 管理職手当 / 技術手当 / つくば市保育士助成金 / 特別活動手当 / 日直手当 / 被服手当 / サブリーダー手当 / リーダー手当 / チーム担当手当 / 職責手当 / 年齢給 / 介護職手当

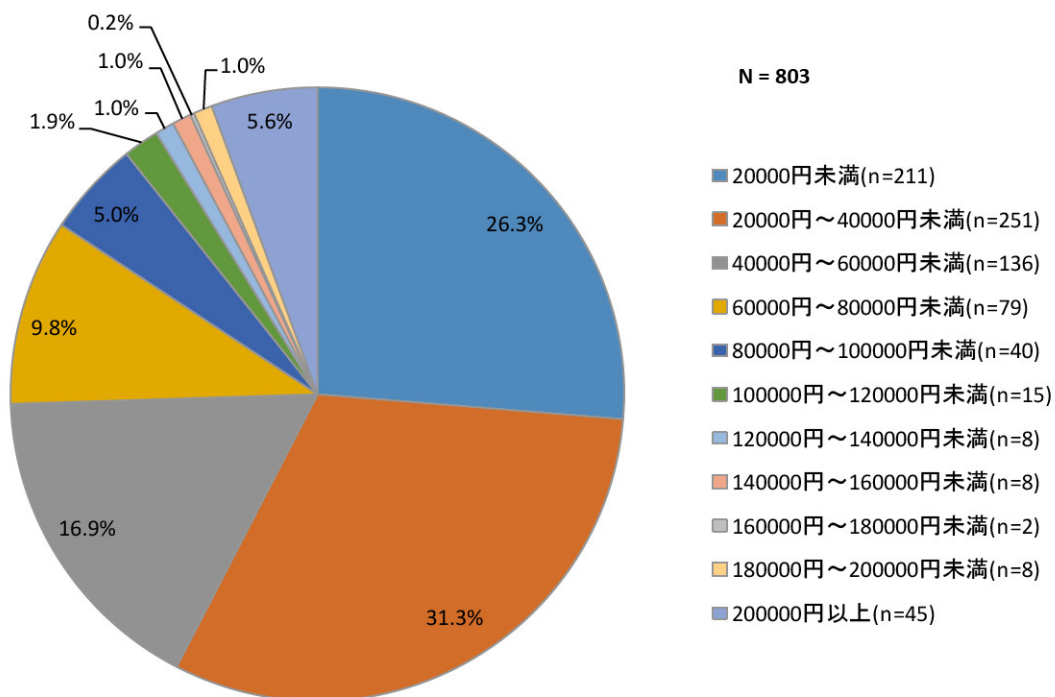
毎月決まって支払われる手当等の種類×職種（正規職員）

- 毎月決まって支払われる手当等の種類と職種別の関連を見ると、「交通費」はいずれの職種でも比較的高い。介護職では、「処遇改善手当」や「夜勤手当」の支給率が高く、それぞれ75.2%、70.5%に達している。保育士では、「資格手当」の支給率が26.1%で低いが、「その他手当」の支給率が19.8%と高い傾向がある。児童指導員では、「宿直手当」の支給が26.9%と多職種に比べて高い。看護職やリハビリ専門職は「時間外手当」の支給が高い。

正規職員		毎月決まって支払われる手当等について、当てはまるものを全て選んでください。										
上段:度数	下段:%	合計	処遇改善手当	住居手当	家族手当	資格手当	皆勤手当	夜勤手当	宿直手当	時間外手当	交通費	その他
現在の職種を次から1つだけ選んでください。	全体	829 100.0	538 64.9	119 14.4	13 1.6	331 39.9	52 6.3	170 20.5	69 8.3	370 44.6	646 77.9	130 15.7
	介護職	149 100.0	112 75.2	23 15.4	4 2.7	97 65.1	17 11.4	105 70.5	10 6.7	71 47.7	124 83.2	14 9.4
	訪問介護員	9 100.0	5 55.6	1 11.1	1 11.1	4 44.4	2 22.2	-	-	4 44.4	7 77.8	-
	保育士	379 100.0	258 68.1	48 12.7	3 0.8	99 26.1	16 4.2	12 3.2	14 3.7	176 46.4	286 75.5	75 19.8
	児童指導員	67 100.0	40 59.7	9 13.4	-	37 55.2	3 4.5	5 7.5	18 26.9	28 41.8	56 83.6	9 13.4
	相談員	15 100.0	5 33.3	3 20.0	-	9 60.0	-	-	-	5 33.3	10 66.7	2 13.3
	生活支援員	84 100.0	61 72.6	21 25.0	3 3.6	26 31.0	4 4.8	43 51.2	16 19.0	27 32.1	70 83.3	12 14.3
	指導員	16 100.0	13 81.3	-	-	10 62.5	-	2 12.5	2 12.5	5 31.3	12 75.0	1 6.3
	看護職	30 100.0	9 30.0	5 16.7	-	14 46.7	2 6.7	3 10.0	4 13.3	19 63.3	21 70.0	6 20.0
	事務職	21 100.0	7 33.3	3 14.3	2 9.5	1 4.8	3 14.3	-	2 9.5	10 47.6	20 95.2	2 9.5
	リハビリ専門職	27 100.0	11 40.7	1 3.7	-	20 74.1	3 11.1	-	-	15 55.6	18 66.7	2 7.4
	その他	32 100.0	17 53.1	5 15.6	-	14 43.8	2 6.3	-	3 9.4	10 31.3	22 68.8	7 21.9

問 11-5 問 11-4 で選んだ手当等について、1 か月に支払われる総額（税込）を教えてください。【FA】

- ・ 1 か月に支払われる手当等の総額について、最も多いのは「20000～40000 円未満」で 251 件（31.3%）となっており、次いで「20000 円未満」が 211 件（26.3%）、「40000 円～60000 円未満」が 136 件（16.9%）となっている。



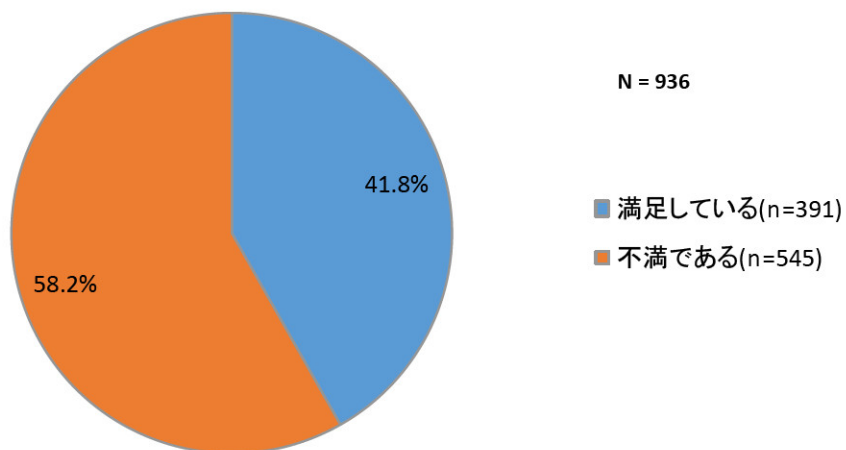
手当額×勤務先種別（正規職員）、手当額×職種（正規職員）

- ・ 手当額と勤務先種別の関連を見ると、高齢者（通所系）、障害児・者（入所系）を除く勤務先では、「20000 円～40000 円未満」が最多となっている。高齢者（通所系）は「20000 円未満」、障害児・者（入所系）は「60000 円～80000 円未満」の割合が最も高くなっている。
- ・ 職種別では、介護職は「40000 円～60000 円未満」、保育士、児童指導員は「20000 円～40000 円未満」が最も多くなっている。生活支援員では手当額の分布が広がっている。

正規職員		上段仮数	1ヶ月に支払われる手当額等数											
		下段%	合計	20000円未満	20000円～40000円未満	40000円～60000円未満	60000円～80000円未満	80000円～100000円未満	100000円～120000円未満	120000円～140000円未満	140000円～160000円未満	160000円～180000円未満	180000円～200000円未満	200000円以上
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体		728	168	233	128	78	38	14	7	7	2	7	44
			100.0	23.1	32.1	17.6	10.7	5.2	1.9	1.0	1.0	0.3	1.0	6.1
	高齢者(入所系)		116	15	28	22	19	12	5	3	3	-	1	10
			100.0	12.9	22.4	19.0	16.4	10.3	4.3	2.6	2.6	-	0.9	8.6
	高齢者(通所系)		35	11	10	9	2	-	-	-	-	-	-	3
			100.0	31.4	28.6	25.7	5.7	-	-	-	-	-	-	8.6
	高齢者(訪問系)		24	7	8	5	1	-	1	1	-	-	-	1
			100.0	29.2	33.3	20.8	4.2	-	4.2	4.2	-	-	-	4.2
	障害児・者(入所系)		70	7	12	11	15	10	4	2	-	-	1	8
			100.0	10.0	17.1	15.7	21.4	14.3	5.7	2.9	-	-	1.4	11.4
	障害児・者(通所系)		114	28	35	22	16	5	2	-	1	-	-	5
			100.0	24.6	30.7	19.3	14.0	4.4	1.8	-	0.9	-	-	4.4
	障害児・者(訪問系)		3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			100.0	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
現在の職種を次から1つだけ選んでください。	児童(保育所・こども園)		297	87	111	49	18	5	1	1	3	2	4	16
			100.0	29.3	37.4	16.5	6.1	1.7	0.3	0.3	1.0	0.7	1.3	5.4
	児童(保育所・こども園以外)		43	2	19	9	5	5	1	-	-	-	1	1
			100.0	4.7	44.2	20.9	11.6	11.6	2.3	-	-	-	2.3	2.3
	その他		24	10	10	1	2	1	-	-	-	-	-	-
			100.0	41.7	41.7	4.2	8.3	4.2	-	-	-	-	-	-
	全体		728	169	235	128	78	39	14	7	7	2	7	44
			100.0	23.2	32.3	17.6	10.4	5.4	1.9	1.0	1.0	0.3	1.0	6.0
	介護職		126	14	26	28	18	13	5	3	3	-	1	15
			100.0	11.1	20.6	22.2	14.3	10.3	4.0	2.4	2.4	-	0.8	11.9
	訪問介護員		6	1	1	3	-	-	-	1	-	-	-	-
			100.0	16.7	16.7	50.0	-	-	-	16.7	-	-	-	-
	保育士		333	89	126	51	24	9	3	1	4	2	5	19
			100.0	26.7	37.8	15.3	7.2	2.7	0.9	0.3	1.2	0.6	1.5	5.7
	児童指導員		60	13	24	14	7	2	-	-	-	-	-	-
			100.0	21.7	40.0	23.3	11.7	3.3	-	-	-	-	-	-
	相談員		15	6	6	2	-	1	-	-	-	-	-	-
			100.0	40.0	40.0	13.3	-	6.7	-	-	-	-	-	-
	生活支援員		78	12	12	13	17	10	4	2	-	-	1	5
			100.0	15.6	15.6	17.1	22.4	13.2	5.3	2.6	-	-	1.3	6.6
	指導員		14	2	7	4	1	-	-	-	-	-	-	-
			100.0	14.3	50.0	28.6	7.1	-	-	-	-	-	-	-
	看護職		25	6	9	2	1	2	1	-	-	-	-	2
			100.0	32.0	36.0	8.0	4.0	8.0	4.0	-	-	-	-	8.0
	事務職		18	6	10	-	2	-	-	-	-	-	-	-
			100.0	33.3	55.6	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-
	リハビリ専門職		26	9	7	5	1	2	-	-	-	-	-	2
			100.0	34.6	26.9	19.2	3.8	7.7	-	-	-	-	-	7.7
	その他		29	9	7	6	5	-	1	-	-	-	-	1
			100.0	31.0	24.1	20.7	17.2	-	3.4	-	-	-	-	3.4

問 11－6 現在の賃金に満足していますか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・現在の賃金に対する満足度について、「満足している」が 391 件（41.8%）、「不満である」が 545 件（58.2%）となっている。



性別 × 賃金満足度

- ・性別と賃金満足度の関連を見ると、男性の 45.0%が賃金に満足している一方で、女性では 40.9%と若干低い結果となっている。

上段:度数 下段:%		現在の賃金に満足していますか。次から1つだけ選んでください。		
		合計	満足している	不満である
性別を次から1つだけ選んでください	全体	929 100.0	388 41.8	541 58.2
	女	738 100.0	302 40.9	436 59.1
	男	189 100.0	85 45.0	104 55.0
	その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0

女性×賃金満足度×最終学歴、女性×賃金満足度×勤務先種別

- ・女性の賃金満足度と最終学歴の関連を見ると、専門学校卒が 55.6%で最も高く、短大卒が 32.3%で最も低い。
- ・女性の賃金満足度と勤務先種別の関連を見ると、障害者（訪問系）が 75.0%と最も高い満足度を示している。障害児・者（入所系）、児童（保育所・こども園）以外も 54.5%と高い満足度を示しているが、高齢者（訪問系）、児童（保育所・こども園）はそれぞれ 39.1%、33.9%と満足度が低い。

女	上段:度数	現在の賃金に満足していますか。次から1つだけ選んでください。		
	下段:%	合計	満足している	不満である
最終学歴を次から1つだけ選んでください。	全体	733 100.0	300 40.9	433 59.1
	大学	231 100.0	90 39.0	141 61.0
	短大	248 100.0	80 32.3	168 67.7
	専門学校	133 100.0	74 55.6	59 44.4
	高校	113 100.0	55 48.7	58 51.3
	その他	8 100.0	1 12.5	7 87.5
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	732 100.0	298 40.7	434 59.3
	高齢者(入所系)	97 100.0	41 42.3	56 57.7
	高齢者(通所系)	35 100.0	17 48.6	18 51.4
	高齢者(訪問系)	23 100.0	9 39.1	14 60.9
	障害児・者(入所系)	66 100.0	36 54.5	30 45.5
	障害児・者(通所系)	89 100.0	41 46.1	48 53.9
	障害者(訪問系)	4 100.0	3 75.0	1 25.0
	児童(保育所・こども園)	354 100.0	120 33.9	234 66.1
	児童(保育所・こども園以外)	44 100.0	24 54.5	20 45.5
	その他	20 100.0	7 35.0	13 65.0

男性×賃金満足度×最終学歴、男性×賃金満足度×勤務先種別

- ・男性の賃金満足度と最終学歴の関連を見ると、若干であるが女性よりも大学卒の満足度が高くなっている。
- ・男性の賃金満足度と勤務先種別の関連を見ると、児童（保育所・こども園以外）が最も高い満足度を示しており 71.4%、高齢者（訪問系）も 60.0%、高齢者（通所系）も 58.3%と高い満足度である。一方で、児童（保育所・こども園）は 33.3%と満足度が低く、高齢者（入所系） 35.2%や障害児・者（入所系） 37.5%も低い満足度となっている。

男	上段:度数 下段:%	現在の賃金に満足していますか。次から1つだけ選んでください。		
		合計	満足している	不満である
最終学歴を次から1つだけ選んでください。	全体	189 100.0	85 45.0	104 55.0
	大学	82 100.0	38 46.3	44 53.7
	短大	2 100.0	1 50.0	1 50.0
	専門学校	47 100.0	21 44.7	26 55.3
	高校	51 100.0	23 45.1	28 54.9
	その他	7 100.0	2 28.6	5 71.4
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	187 100.0	83 44.4	104 55.6
	高齢者（入所系）	54 100.0	19 35.2	35 64.8
	高齢者（通所系）	12 100.0	7 58.3	5 41.7
	高齢者（訪問系）	10 100.0	6 60.0	4 40.0
	障害児・者（入所系）	24 100.0	9 37.5	15 62.5
	障害児・者（通所系）	57 100.0	28 49.1	29 50.9
	障害者（訪問系）	- -	- -	- -
	児童（保育所・こども園）	12 100.0	4 33.3	8 66.7
	児童（保育所・こども園以外）	7 100.0	5 71.4	2 28.6
	その他	11 100.0	5 45.5	6 54.5

賃金満足度×職種

- 賃金満足度と職種の関連を見ると、指導員が最も高い満足度で 66.7%、次いで生活支援員で 56.0%となっている。一方で、相談員の満足度が最も低くなっている。

	上段:度数 下段:%	現在の賃金に満足していますか。次から1つだけ選んでください。		
		合計	満足している	不満である
現在の職種を次から1つだけ選んでください。	全体	931 100.0	387 41.6	544 58.4
	介護職	174 100.0	80 46.0	94 54.0
	訪問介護員	10 100.0	5 50.0	5 50.0
	保育士	404 100.0	140 34.7	264 65.3
	児童指導員	73 100.0	30 41.1	43 58.9
	相談員	16 100.0	2 12.5	14 87.5
	生活支援員	100 100.0	56 56.0	44 44.0
	指導員	24 100.0	16 66.7	8 33.3
	看護職	35 100.0	14 40.0	21 60.0
	事務職	23 100.0	10 43.5	13 56.5
	リハビリ専門職	28 100.0	14 50.0	14 50.0
	その他	44 100.0	20 45.5	24 54.5

問 11-7 問 11-6で「2」を選んだ方のみお答えください。現在の賃金に対する不満の理由をお聞かせください。【FA】

- ・全体的に、労働量や責任の重さに対して賃金が見合っていないという強い不満が共通して見られる。また、生活費や将来への不安も大きな不満の要因となっている。
- ・保育士で賃金に対する不満のコメントがあった 255 件の内、約 10%の 25 件が、「サービス残業が多い」や「持ち帰りの仕事に対する手当がない」などの「残業代の不満」として現れている。

【基本給の低さ】

- ・多くのコメントで「基本給が低い」「基本給が安い」との不満が見られる。基本給が少ないため、ボーナスや手当ても少ないと感じる人が多い。

【仕事量と賃金の不一致】

- ・仕事量や仕事内容に対して賃金が見合っていないという意見が多数ある。特に「命を預かる仕事」「責任の重い仕事」に対して、賃金が低すぎるとの声が目立つ。

【残業代の不満】

- ・保育士（25 件）が残業代への不満に対する意見が最も多い。
- ・残業代が出ない、またはサービス残業が多いというコメントが多く見られる。持ち帰りの仕事が多いが、それに対する手当がないという不満もある。

	全体	介護職	訪問介護員	保育士	児童指導員	相談員
残業代への不満	41	3	-	25	5	-
	生活支援員	指導員	看護職	事務職	リハビリ専門職	その他
	5	-	-	1	-	2

【昇給・賞与の問題】

- ・昇給制度がない、または昇給が少ないという意見が多く見られる。賞与が少ない、または不安定であるというコメントも多い。

【生活費とのバランス】

- ・物価高騰や生活費の上昇に対して賃金が追いつかず、生活が苦しいと感じている人が多い。特に一人暮らしや家庭を持つことを考えると賃金が足りないとの声が多い。

【職務の専門性と賃金の不一致】

- ・保育士や医療系の資格を持つ人々が、その専門性に見合った賃金を受け取れていないと感じている。資格手当が少ない、または資格を持っていない人との賃金差が少ないことに不満を持っている人もいる。

【将来への不安】

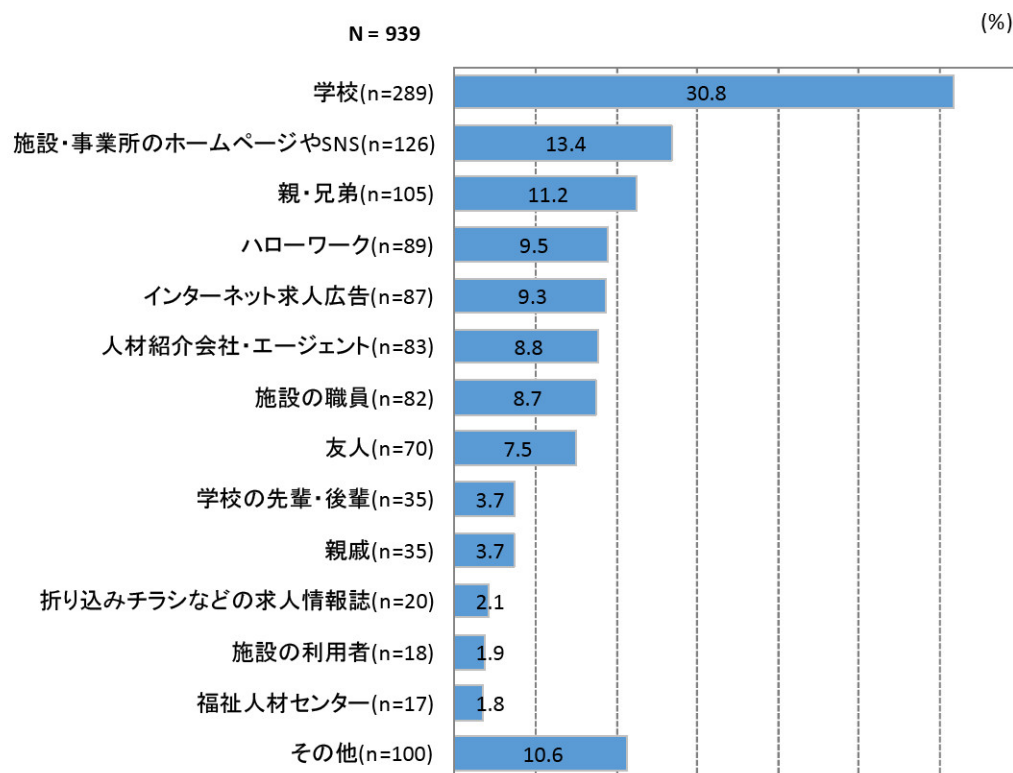
- ・将来の生活や老後、子育てについての不安が多く見られる。貯金ができない、将来の計画が立てづらいという意見が多い。

【他職種との比較】

- ・他の職種や同じ職業の他施設との賃金差に不満を持つ人が多い。特に同じ業種でも地域や施設によって賃金が異なることに対する不満が見られる。

問 12 現在の勤務先を決めたきっかけは下記のいずれですか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・現在の勤務先を決めたきっかけについて、最も多いのは「学校」で 289 件（30.8%）となっており、次いで「施設・事業所のホームページや SNS」が 126 件（13.4%）、「親・兄弟」が 105 件（11.2%）となっている。



【その他回答】

【学校関係】

実習先 / 実習先の資料 / 大学の先生 / 短大の先生 / 学校の先生

【ボランティア / 見学による経験等】

元々そこでバイトをしていた / 大学生の時にボランティアさせていただいていた / 園見学 / 母園 / 家族が通っていた

【家族等からの紹介】

祖父母 / 祖父 / 前職の職員・先輩

【その他】

家から近い / 託児所があったから / 公務員は安泰だと思い試験を受けた / 合同説明会 / 院長先生 / 子供がいるので急な休みやシフトの融通を利かせてくれる / 施設からの薦めで / 奨学金制度があったため / 広報を見て / 自身で調べて / 場所を知っており気になっていた / 鹿嶋市で働きたい思いがあった

大学卒×勤務先を決めたきっかけ×勤務先種別

- ・大学卒の職員が現在の勤務先を決めたきっかけと勤務先種別の関連を見ると、特徴的なのは、高齢者（入所系）、高齢者（通所系）、障害児・者（通所系）では「人材紹介会社・エージェント」が全体の回答の割合より高く、高齢者（訪問系）では、「ハローワーク」が38.5%で最も高い。
- ・大学卒の職員が現在の勤務先を決めたきっかけと職種別の関連を見ると、特徴的なのは、介護職や相談員が「人材紹介会社・エージェント」を選ぶ割合が高く、介護職、生活支援員、看護職は「インターネット求人広告」が多くなっている。

大学		上段:度数	現在の勤務先を決めたきっかけは下記のいずれですか。当てはまるものを全て選んでください。														
		下段:%	合計	福祉人材センター	ハローワーク	学校	学校の先輩・後輩	友人	親・兄弟	親戚	施設の利用者	施設の職員	施設・事業所のホームページやSNS	折り込みチラシなどの求人情報誌	インターネット求人広告	人材紹介会社・エージェント	その他
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体		309 100.0	7 2.3	29 9.4	84 27.2	18 5.8	20 6.5	32 10.4	7 2.3	5 1.6	29 9.4	65 21.0	7 2.3	35 11.3	37 12.0	26 8.4
	高齢者(入所系)		29 100.0	1 3.4	5 17.2	7 24.1	1 3.4	3 10.3	-	-	1 3.4	2 6.9	4 13.8	1 3.4	5 17.2	6 20.7	1 3.4
	高齢者(通所系)		12 100.0	-	2 16.7	-	-	1 8.3	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3	-	-	2 16.7	4 33.3	1 8.3
	高齢者(訪問系)		13 100.0	-	5 38.5	1 7.7	-	-	3 23.1	-	-	-	3 23.1	2 15.4	3 23.1	-	-
	障害児・者(入所系)		37 100.0	4 10.8	4 10.8	13 35.1	2 5.4	4 10.8	2 5.4	-	3 8.1	2 5.4	9 24.3	1 2.7	8 21.6	3 8.1	2 5.4
	障害児・者(通所系)		68 100.0	1 1.5	6 8.8	11 16.2	3 4.4	2 2.9	6 8.8	-	1 1.5	10 14.7	17 25.0	1 1.5	8 11.8	11 16.2	6 8.8
	障害者(訪問系)		1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
	児童(保育所・こども園)		99 100.0	-	4 4.0	36 36.4	6 6.1	4 4.0	14 14.1	5 5.1	-	11 11.1	20 20.2	2 2.0	6 6.1	8 8.1	12 12.1
	児童(保育所・こども園以外)		26 100.0	-	2 7.7	9 34.6	3 11.5	4 15.4	3 11.5	1 3.8	-	3 11.5	5 19.2	-	2 7.7	2 7.7	2 7.7
	その他		24 100.0	1 4.2	1 4.2	7 29.2	3 12.5	2 8.3	3 12.5	-	-	-	7 29.2	-	-	3 12.5	2 8.3
現在の職種を次から1つだけ選んでください。	全体		312 100.0	7 2.2	31 9.9	84 26.9	18 5.8	20 6.4	32 10.3	8 2.6	5 1.6	29 9.3	65 20.8	7 2.2	35 11.2	37 11.9	26 8.3
	介護職		25 100.0	1 4.0	3 12.0	5 20.0	1 4.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	2 8.0	4 16.0	1 4.0	5 20.0	5 20.0	2 8.0
	訪問介護員		1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育士		104 100.0	-	2 1.9	37 35.6	7 6.7	9 8.7	13 12.5	4 3.8	-	14 13.5	22 21.2	1 1.0	5 4.8	11 10.6	12 11.5
	児童指導員		51 100.0	-	5 9.8	9 17.6	3 5.9	2 3.9	5 9.8	2 3.9	1 2.0	7 13.7	13 25.5	1 2.0	5 9.8	5 9.8	6 11.8
	相談員		14 100.0	-	3 21.4	3 21.4	1 7.1	-	2 14.3	1 7.1	-	-	3 21.4	-	1 7.1	4 28.6	-
	生活支援員		47 100.0	5 10.6	7 14.9	13 27.7	1 2.1	3 6.4	5 10.6	-	3 6.4	5 10.6	11 23.4	1 2.1	10 21.3	4 8.5	2 4.3
	指導員		10 100.0	-	-	2 20.0	3 30.0	-	2 20.0	-	-	-	1 10.0	-	1 10.0	1 10.0	1 10.0
	看護職		14 100.0	-	3 21.4	1 7.1	-	1 7.1	-	-	-	-	2 14.3	1 7.1	5 35.7	2 14.3	1 7.1
	事務職		11 100.0	-	3 27.3	1 9.1	-	1 9.1	3 27.3	-	-	-	4 36.4	1 9.1	1 9.1	-	-
	リハビリ専門職		13 100.0	-	1 7.7	4 30.8	2 15.4	2 15.4	-	-	-	1 7.7	1 7.7	-	1 7.7	2 15.4	1 7.7
	その他		22 100.0	1 4.5	4 18.2	8 36.4	-	-	1 4.5	-	-	-	4 18.2	1 4.5	1 4.5	3 13.6	1 4.5

短大卒×勤務先を決めたきっかけ×勤務先種別

- ・短大卒の職員が現在の勤務先を決めたきっかけと勤務先種別の関連を見ると、特徴的なのは、児童（保育所・こども園）は、他の勤務先種別に比べて、その機会が多岐にわたっている。
- ・短大卒の職員が現在の勤務先を決めたきっかけと職種別の関連を見ると、特徴的なのは、上記と同様に、他の職種に比べて、その機会が多岐にわたっている。

短大		上段:度数	現在の勤務先を決めたきっかけは下記のいずれですか。当てはまるものを全て選んでください。													
下段:%		合計	福祉人材センター	ハローワーク	学校	学校の先輩・後輩	友人	親・兄弟	親戚	施設の利用者	施設の職員	施設・事業所のホームページやSNS	折り込みチラシなどの求人情報誌	インターネット求人広告	人材紹介会社・エージェント	その他
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	256 100.0	1 0.4	21 8.2	96 37.5	6 2.3	24 9.4	26 10.2	6 2.3	7 2.7	17 6.6	28 10.9	7 2.7	13 5.1	15 5.9	44 17.2
	高齢者(入所系)	5 100.0	-	2 40.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	1 20.0
	高齢者(通所系)	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-
	高齢者(訪問系)	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	2 66.7	-
	障害児・者(入所系)	9 100.0	-	2 22.2	5 55.6	-	1 11.1	-	-	-	-	2 22.2	-	-	-	1 11.1
	障害児・者(通所系)	17 100.0	-	3 17.6	-	-	-	1 5.9	-	1 5.9	-	3 17.6	-	4 23.5	5 29.4	1 5.9
	障害者(訪問系)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童(保育所・こども園)	203 100.0	1 0.5	12 5.9	80 39.4	6 3.0	20 9.9	24 11.8	6 3.0	5 2.5	15 7.4	20 9.9	7 3.4	9 4.4	7 3.4	36 17.7
	児童(保育所・こども園以外)	16 100.0	-	1 6.3	10 62.5	-	3 18.8	-	-	1 6.3	2 12.5	2 12.5	-	-	-	4 25.0
	その他	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0
現在の職種を次から1つだけ選んでください。	全体	256 100.0	1 0.4	21 8.2	96 37.5	6 2.3	24 9.4	26 10.2	6 2.3	7 2.7	17 6.6	28 10.9	7 2.7	13 5.1	15 5.9	44 17.2
	介護職	7 100.0	-	2 28.6	2 28.6	-	-	1 14.3	-	-	-	-	-	-	1 14.3	1 14.3
	訪問介護員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育士	232 100.0	1 0.4	15 6.5	90 38.8	6 2.6	23 9.9	24 10.3	6 2.6	6 2.6	17 7.3	24 10.3	7 3.0	11 4.7	12 5.2	43 18.5
	児童指導員	3 100.0	-	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 66.7	-	-
	相談員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生活支援員	6 100.0	-	1 16.7	3 50.0	-	1 16.7	-	-	-	-	2 33.3	-	-	-	-
	指導員	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	看護職	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	2 66.7	-
	事務職	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-
	リハビリ専門職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-

専門学校卒×勤務先を決めたきっかけ×勤務先種別

- ・専門学校卒の職員が現在の勤務先を決めたきっかけと勤務先種別の関連を見ると、特徴的なのは、高齢者（入所系）、高齢者（通所系）、障害者（訪問系）では「施設の職員」がそれぞれ、16.2%、20.0%、33.3%で高くなっている。
- ・専門学校卒の職員が現在の勤務先を決めたきっかけと職種別の関連を見ると、特徴的なのは、介護職、生活支援員、看護職で「施設の職員」が多い。

専門学校		現在の勤務先を決めたきっかけは下記のいずれですか。当てはまるものを全て選んでください。														
上段:度数		合計	福祉人材センター	ハローワーク	学校	学校の先輩・後輩	友人	親・兄弟	親戚	施設の利用者	施設の職員	施設・事業所のホームページやSNS	折り込みチラシなどの求人情報誌	インターネット求人広告	人材紹介会社・エージェント	その他
下段:%																
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	180 100.0	4 2.2	8 4.4	61 33.9	8 4.4	12 6.7	18 10.0	8 4.4	4 2.2	20 11.1	19 10.6	5 2.8	19 10.6	14 7.8	20 11.1
	高齢者(入所系)	37 100.0	2 5.4	1 2.7	16 43.2	1 2.7	3 8.1	2 5.4	-	-	6 16.2	4 10.8	-	3 8.1	6 16.2	4 10.8
	高齢者(通所系)	15 100.0	2 13.3	1 6.7	2 13.3	-	-	2 13.3	2 13.3	-	3 20.0	1 6.7	2 13.3	2 13.3	1 6.7	1 6.7
	高齢者(訪問系)	11 100.0	-	2 18.2	2 18.2	-	1 9.1	1 9.1	1 9.1	-	1 9.1	1 9.1	1 9.1	-	1 9.1	-
	障害児・者(入所系)	15 100.0	-	1 6.7	3 20.0	-	-	4 26.7	1 6.7	-	1 6.7	3 20.0	1 6.7	3 20.0	-	1 6.7
	障害児・者(通所系)	27 100.0	-	2 7.4	6 22.2	2 7.4	3 11.1	3 11.1	1 3.7	2 7.4	3 11.1	1 3.7	-	3 11.1	1 3.7	1 3.7
	障害者(訪問系)	3 100.0	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-	1 33.3	-	-	-	1 33.3	-
	児童(保育所・こども園)	59 100.0	-	1 1.7	29 49.2	4 6.8	3 5.1	4 6.8	3 5.1	1 1.7	5 8.5	5 8.5	1 1.7	5 8.5	3 5.1	11 18.6
	児童(保育所・こども園以外)	11 100.0	-	-	3 27.3	1 9.1	1 9.1	1 9.1	-	1 9.1	-	4 36.4	-	3 27.3	1 9.1	1 9.1
	その他	2 100.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
現在の職種を次から1つだけ選んでください。	全体	180 100.0	4 2.2	9 5.0	60 33.3	8 4.4	12 6.7	18 10.0	8 4.4	4 2.2	20 11.1	19 10.6	5 2.8	18 10.0	14 7.8	20 11.1
	介護職	41 100.0	4 9.8	2 4.9	16 39.0	1 2.4	3 7.3	4 9.8	1 2.4	-	7 17.1	3 7.3	1 2.4	4 9.8	5 12.2	4 9.8
	訪問介護員	4 100.0	-	-	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-
	保育士	65 100.0	-	1 1.5	31 47.7	5 7.7	3 4.6	6 9.2	3 4.6	1 1.5	4 6.2	6 9.2	1 1.5	7 10.8	3 4.6	11 16.9
	児童指導員	10 100.0	-	-	4 40.0	-	2 20.0	-	-	-	1 10.0	1 10.0	-	2 20.0	1 10.0	-
	相談員	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
	生活支援員	12 100.0	-	-	1 8.3	-	-	2 16.7	2 16.7	2 16.7	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3
	指導員	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	看護職	17 100.0	-	1 5.9	3 17.6	-	-	1 5.9	1 5.9	-	3 17.6	4 23.5	-	2 11.8	3 17.6	1 5.9
	事務職	4 100.0	-	1 25.0	-	-	2 50.0	-	-	-	-	1 25.0	-	-	-	-
	リハビリ専門職	14 100.0	-	2 14.3	4 28.6	1 7.1	1 7.1	1 7.1	-	1 7.1	2 14.3	2 14.3	-	1 7.1	1 7.1	1 7.1
	その他	9 100.0	-	1 11.1	-	-	-	3 33.3	-	-	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	-	1 11.1

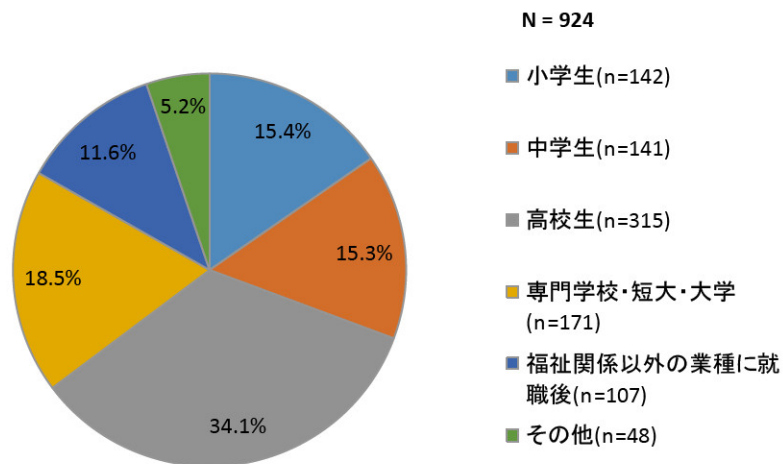
高校卒×勤務先を決めたきっかけ×勤務先種別

- ・高校卒の職員が現在の勤務先を決めたきっかけと勤務先種別の関連を見ると、特徴的なのは、「親・兄弟」、「ハローワーク」が高くなる傾向にあり、「施設・事業所のホームページやSNS」が低い。
- ・高校卒の職員が現在の勤務先を決めたきっかけと職種別の関連を見ると、特徴的なのは、指導員は「インターネット求人広告」が44.4%で高く、事務職で「ハローワーク」が57.1%と高くなっている。

高校	上段:度数		現在の勤務先を決めたきっかけは下記のいずれですか。当てはまるものを全て選んでください。														
	下段:%		合計	福祉人材センター	ハローワーク	学校	学校の先輩・後輩	友人	親・兄弟	親戚	施設の利用者	施設の職員	施設・事業所のホームページやSNS	折り込みチラシなどの求人情報誌	インターネット求人広告	人材紹介会社・エージェント	その他
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体		166 100.0	2 1.2	24 14.5	47 28.3	3 1.8	14 8.4	26 15.7	10 6.0	2 1.2	15 9.0	6 3.6	1 0.6	20 12.0	13 7.8	7 4.2
	高齢者(入所系)		76 100.0	1 1.3	9 11.8	32 42.1	2 2.6	6 7.9	8 10.5	5 6.6	1 1.3	10 13.2	2 2.6	1 1.3	4 5.3	7 9.2	4 5.3
	高齢者(通所系)		20 100.0	1 5.0	4 20.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	3 15.0	-	-	2 10.0	2 10.0	-	3 15.0	2 10.0	-
	高齢者(訪問系)		6 100.0	-	-	-	-	2 33.3	2 33.3	-	-	1 16.7	-	-	1 16.7	-	1 16.7
	障害児・者(入所系)		27 100.0	-	4 14.8	8 29.6	-	1 3.7	6 22.2	3 11.1	-	1 3.7	-	-	5 18.5	1 3.7	1 3.7
	障害児・者(通所系)		33 100.0	-	6 18.2	3 9.1	-	4 12.1	6 18.2	2 6.1	1 3.0	1 3.0	2 6.1	-	5 15.2	3 9.1	1 3.0
	障害者(訪問系)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童(保育所・こども園)		3 100.0	-	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 66.7	-	-
	児童(保育所・こども園以外)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他		1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
現在の職種を次から1つだけ選んでください。	全体		167 100.0	2 1.2	25 15.0	47 28.1	3 1.8	14 8.4	26 15.6	10 6.0	2 1.2	15 9.0	7 4.2	1 0.6	20 12.0	13 7.8	7 4.2
	介護職		96 100.0	2 2.1	13 13.5	36 37.5	3 3.1	7 7.3	12 12.5	5 5.2	1 1.0	10 10.4	6 6.3	1 1.0	7 7.3	9 9.4	4 4.2
	訪問介護員		5 100.0	-	-	-	-	1 20.0	2 40.0	-	-	1 20.0	-	-	1 20.0	-	1 20.0
	保育士		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童指導員		10 100.0	-	-	-	-	2 20.0	1 10.0	-	-	1 10.0	1 10.0	-	1 10.0	3 30.0	1 10.0
	相談員		1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生活支援員		30 100.0	-	4 13.3	8 26.7	-	3 10.0	8 26.7	4 13.3	-	3 10.0	-	-	3 10.0	-	1 3.3
	指導員		9 100.0	-	1 11.1	1 11.1	-	-	2 22.2	1 11.1	-	-	-	-	4 44.4	-	-
	看護職		1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-
	事務職		7 100.0	-	4 57.1	1 14.3	-	-	1 14.3	-	-	-	-	-	1 14.3	-	-
	リハビリ専門職		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他		8 100.0	-	2 25.0	1 12.5	-	1 12.5	-	-	1 12.5	-	-	-	3 37.5	-	-

問 13 福祉の仕事を目指そうと思った時期はいつ頃ですか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・福祉の仕事を目指そうと思った時期について、最も多いのは「高校生」で 315 件（34.1%）となっており、次いで「専門学校・短大・大学」が 171 件（18.5%）、「小学生」が 142 件（15.4%）となっている。
- ・「小学生」または「中学生」と回答したのは 283 件（30.7%）であり、この時期に福祉の仕事を認識、経験することが、福祉の仕事を職業として選択するための重要な時期であると考えられる。



【幼少期】

幼児期 / 幼児 / 4 歳から / 5 歳 / 幼稚園 / 保育園生(5 歳)

【勧誘】

親戚に勧められて / 祖父からの誘い / 知り合いからの紹介 / 職場の人に誘われたから / 友達からの勧め / 誘われてなんとなく / プライベートにて介護職員との交流により始めた

【就職・転職活動】

転職活動中 / ハローワークの職探しにて / 一般企業経験後

【特になし】

思ったことはない / 目指す気なくやる気全くないです / 元々目指すつもりはなかった / 成り行き / 気づいたらなった / 特にやりたいこともなかったから

【その他】

19 歳 / 高校卒業後 / 大学卒業後 / 大学院 / 介護職入職後 / 管理栄養士として就職し現在は介護職の体験中 / 同じ法人内の病院から異動命令が出たため / 児童養護施設希望だったが就職後配属されたのが障害者支援だった / 派遣未経験で初めて自分に合っていると思ったから / 看護師になろうとしたが、諦めて福祉の道へ / 福祉科を選択して / 家族が障害を持ったため

福祉の仕事を目指そうと思った時期×勤務先種別

・福祉の仕事を目指そうと思った時期と勤務先種別の関連を見ると、児童（保育所・こども園）は「小学生」（30.3%）、「中学生」（25.7%）が他の種別に比べて極めて高い。障害児・者（入所系）、障害児・者（通所系）、児童（保育所・こども園以外）は「専門学校・短期大学・大学」で回答した割合が高い。また、高齢者（通所系）、高齢者（訪問系）、障害児・者（通所系）、障害者（訪問系）は「福祉関係以外の業種に就職後」の割合も高くなっている。

上段: 度数		福祉の仕事を目指そうと思った時期はいつ頃ですか。次から1つだけ選んでください。						
下段: %		合計	小学生	中学生	高校生	専門学校・短大・大学	福祉関係以外の業種に就職後	その他
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	916 100.0	142 15.5	141 15.4	313 34.2	168 18.3	104 11.4	48 5.2
	高齢者(入所系)	147 100.0	6 4.1	17 11.6	71 48.3	29 19.7	12 8.2	12 8.2
	高齢者(通所系)	47 100.0	1 2.1	1 2.1	22 46.8	7 14.9	13 27.7	3 6.4
	高齢者(訪問系)	33 100.0	3 9.1	3 9.1	13 39.4	2 6.1	11 33.3	1 3.0
	障害児・者(入所系)	87 100.0	5 5.7	7 8.0	28 32.2	26 29.9	17 19.5	4 4.6
	障害児・者(通所系)	146 100.0	8 5.5	11 7.5	40 27.4	41 28.1	38 26.0	8 5.5
	障害者(訪問系)	4 100.0	- -	- -	3 75.0	- -	1 25.0	- -
	児童(保育所・こども園)	370 100.0	112 30.3	95 25.7	118 31.9	27 7.3	4 1.1	14 3.8
	児童(保育所・こども園以外)	53 100.0	7 13.2	6 11.3	12 22.6	21 39.6	3 5.7	4 7.5
	その他	29 100.0	- -	1 3.4	6 20.7	15 51.7	5 17.2	2 6.9

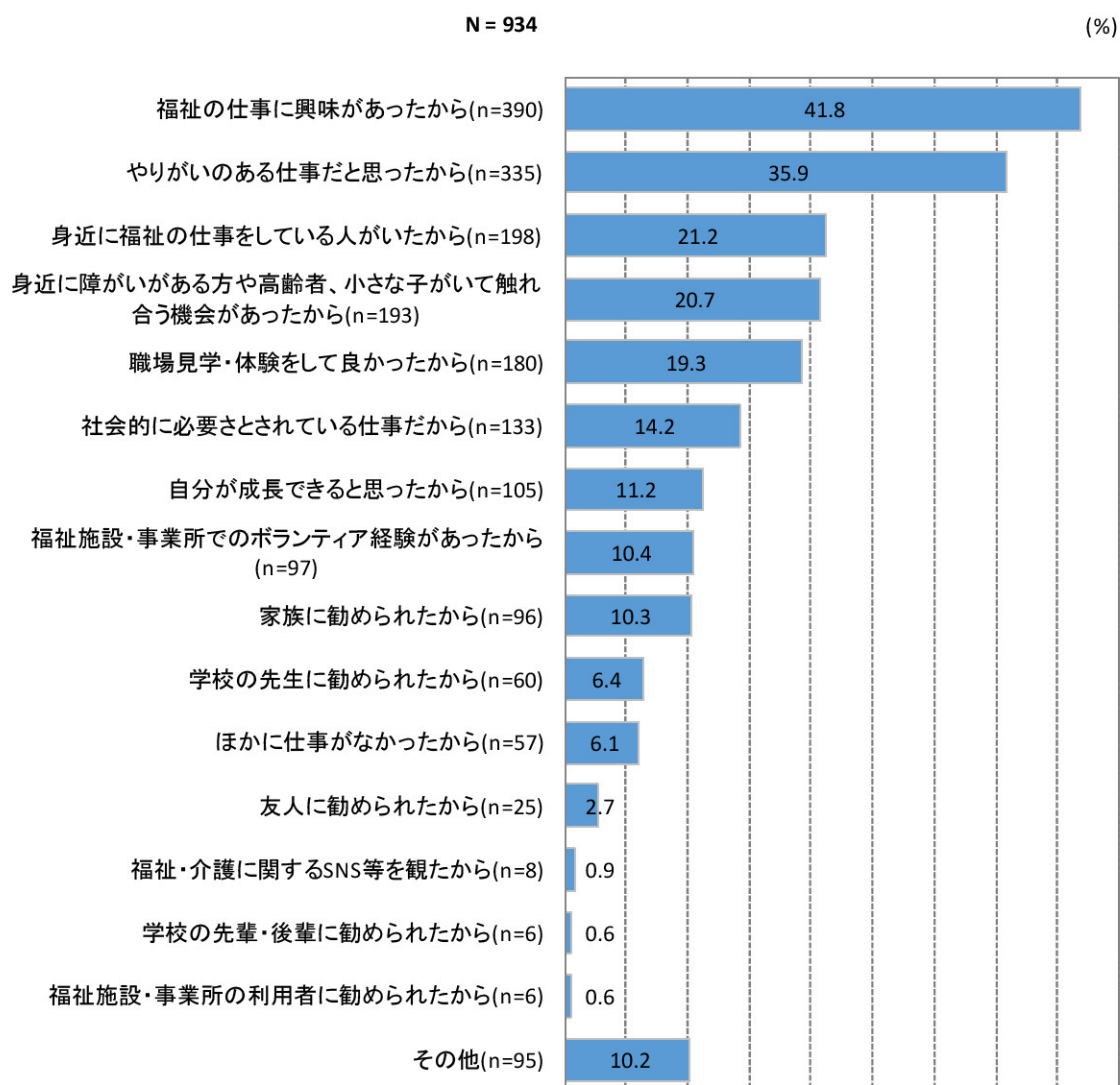
福祉の仕事を目指そうと思った時期×職種（保育士）

・福祉の仕事を目指そうと思った時期と職種（保育士）の関連を見ると、「小学生」（29.6%）、「中学生」（25.4%）を回答する割合が高くなっている。

上段: 度数		福祉の仕事を目指そうと思った時期はいつ頃ですか。次から1つだけ選んでください。						
下段: %		合計	小学生	中学生	高校生	専門学校・短大・大学	福祉関係以外の業種に就職後	その他
現在の職種を次から1つだけ選んでください。	全体	919 100.0	142 15.5	141 15.3	314 34.2	168 18.3	106 11.5	48 5.2
	保育士	406 100.0	120 29.6	103 25.4	128 31.5	36 8.9	4 1.0	15 3.7

問 14 福祉の仕事を目指そうと思った理由はなんですか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・福祉の仕事を目指そうと思った理由について、最も多いのは「福祉の仕事に興味があったから」で 390 件（41.8%）となっており、次いで「やりがいのある仕事だと思ったから」が 335 件（35.9%）、「身近に福祉の仕事をしている人がいたから」が 198 件（21.2%）となっている。



【その他回答】

【憧れ】

担任の先生に憧れたから / 保育士になるのが夢だったから / 介護の仕事を間近で見たから / 人と関わる仕事につきたかったから / 利用者の自宅を訪問し、支援に関わりたかったから / 親が保育士だったから / 親が医療関係者だったから

【好き・得意】

子どもが好きだから / 習い事を活かしたかったから / 小さい子の面倒を見るのが好きで / 自分が幼い時から赤ちゃんや歳下をととても可愛いと思っていたから / 子どもが好きで特技が活かせる職種だから / 自分の長所を生かせると思ったから / 専門時代の実習を通して自分に合っていると思ったから

【ポリシー】

自分も障害をもっていて苦労してきたので、障害をもった子供達を助けたいと思ったから / 待機児童を減らしたいから

【家庭環境】

自分の家庭環境から / 母親が祖母の介護をしているところを見て少しでも手伝えればと思い選んだ / 自分が児童養護施設で育ったから / 祖父母と暮らしているから

【資格を活かす・取得する】

自分の持っている資格で、教員以外に就業できる仕事内容であったから / 家から通える資格が生かせる職場として選んだ / 資格を取得したかったから / 学校で学んだことが役に立つかと思ったから / 専門学校を卒業し介護福祉士の資格を得たから

【将来を見据えて】

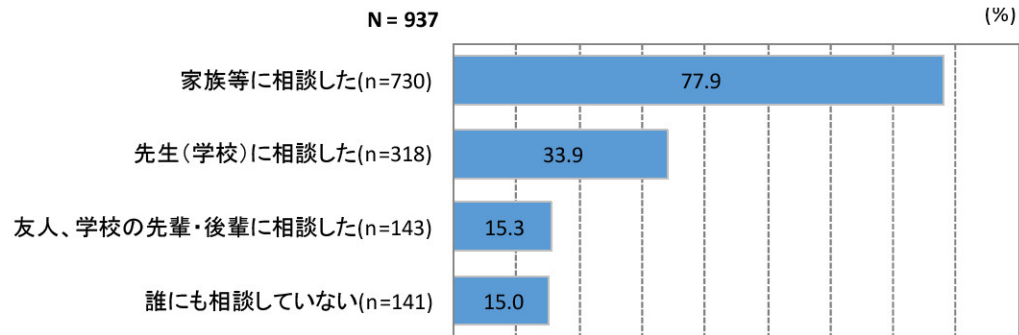
将来的に AI に負けない職業だと思ったから / 高齢化社会中で職探しに困らなそうだから / 将来、親の助けになりたいと思ったから / 自分の将来の役に立つと思ったから

【その他】

近かった / 配属先が福祉の仕事だった / 働いてみて興味を持ったため / ハローワークの勧め / 自立した生活ができるお給料がもらえるため / 夜勤なし、事務職を希望していたため / 思ったことはない / なんとなく

問 15 福祉の仕事就職先を決める際、家族等や先生（学校）、友人・学校の先輩・後輩に相談しましたか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

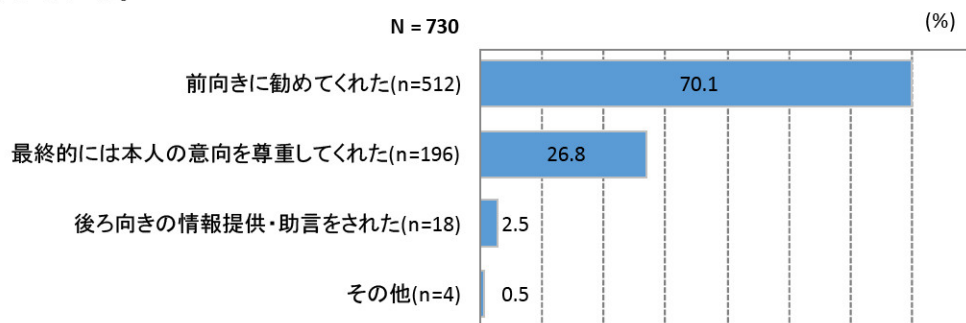
- ・就職先決定時の相談相手について、最も多いのは「家族等に相談した」で 730 件（77.9%）となっており、次いで「先生（学校）に相談した」が 318 件（33.9%）、「友人、学校の先輩・後輩に相談した」が 143 件（15.3%）となっている。



問 15-1 問 15 で「1」「2」「3」を選んだ方のみお答えください。それぞれ、どのような意向でしたか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

【家族等】

- ・「前向きに勧めてくれた」が 512 件（70.1%）で最も多く、「最終的には本人の意向を尊重してくれた」が 196 件（26.8%）、「後ろ向きの情報提供・助言をされた」が 18 件（2.5%）となっている。



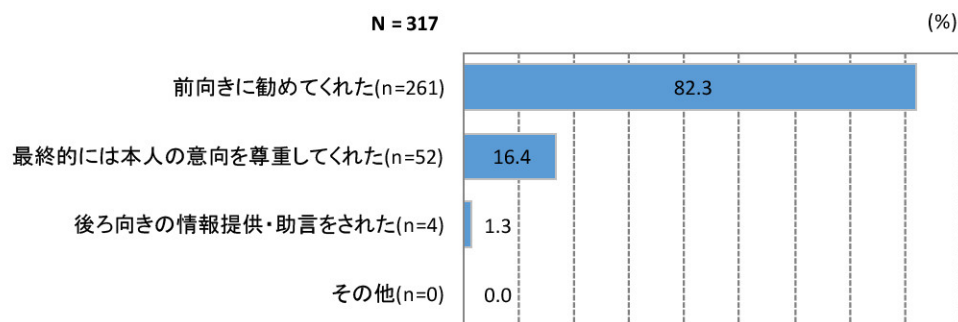
相談者（家族等）×勤務先種別

- ・家族等への相談と勤務先種別の関連を見ると、「前向きに勧めてくれた」と回答したのは、児童（保育所・こども園以外）が 33 件（82.5%）で最も高く、障害児・者（入所系）が 29 件（48.3%）で低くなっている。

上段: 度数		問15で「1」を選んだ方のみお答えください。それぞれ、どのような意向でしたか。当てはまるものを全て選んでください。				
下段: %		合計	前向きに勧めてくれた	最終的には本人の意向を尊重してくれた	後ろ向きの情報提供・助言をされた	その他
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	723 100.0	505 69.8	196 27.1	18 2.5	4 0.6
	高齢者(入所系)	115 100.0	64 55.7	46 40.0	5 4.3	-
	高齢者(通所系)	34 100.0	22 64.7	12 35.3	-	-
	高齢者(訪問系)	22 100.0	16 72.7	5 22.7	-	1 4.5
	障害児・者(入所系)	60 100.0	29 48.3	25 41.7	5 8.3	1 1.7
	障害児・者(通所系)	104 100.0	73 70.2	27 26.0	3 2.9	1 1.0
	障害児・者(訪問系)	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-
	児童(保育所・こども園)	321 100.0	249 77.6	66 20.6	5 1.6	1 0.3
	児童(保育所・こども園以外)	40 100.0	33 82.5	7 17.5	-	-
	その他	24 100.0	17 70.8	7 29.2	-	-

【先生（学校）】

- ・「前向きに勧めてくれた」が 261 件（82.3%）で最も多く、「最終的には本人の意向を尊重してくれた」が 52 件（16.4%）、「後ろ向きの情報提供・助言をされた」が 4 件（1.3%）となっている。



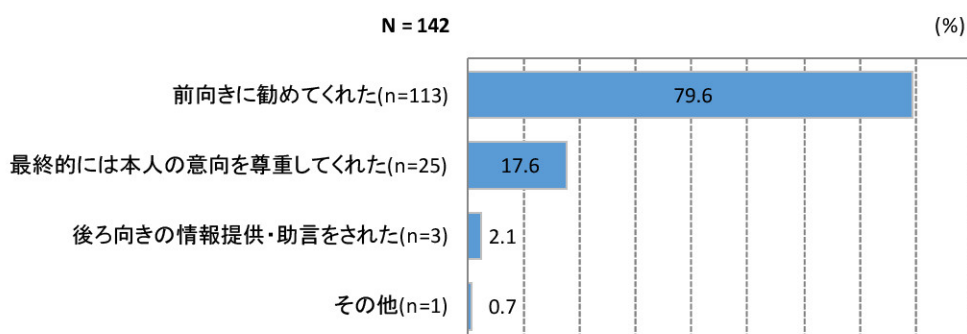
相談者（先生（学校））×勤務先種別

- ・先生（学校）への相談と勤務先種別の関連を見ると、「前向きに勧めてくれた」と回答したのは、児童（保育所・こども園以外）が 21 件（91.3%）で最も高く、高齢者（通所系）が 5 件（50.0%）で低くなっている。

上段: 度数		問15で「2」を選んだ方のみお答えください。それぞれ、どのような意向でしたか。当てはまるものを全て選んでください。				
下段: %		合計	前向きに勧めてくれた	最終的には本人の意向を尊重してくれた	後ろ向きの情報提供・助言をされた	その他
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	316 100.0	260 82.3	52 16.5	4 1.3	-
	高齢者（入所系）	48 100.0	36 75.0	10 20.8	2 4.2	-
	高齢者（通所系）	10 100.0	5 50.0	5 50.0	-	-
	高齢者（訪問系）	10 100.0	7 70.0	3 30.0	-	-
	障害児・者（入所系）	29 100.0	24 82.8	5 17.2	-	-
	障害児・者（通所系）	25 100.0	19 76.0	6 24.0	-	-
	障害児（訪問系）	-	-	-	-	-
	児童（保育所・こども園）	164 100.0	143 87.2	19 11.6	2 1.2	-
	児童（保育所・こども園以外）	23 100.0	21 91.3	2 8.7	-	-
	その他	7 100.0	5 71.4	2 28.6	-	-

【友人、学校の先輩・後輩】

- ・「前向きに勧めてくれた」が 113 件（79.6％）で最も多く、「最終的には本人の意向を尊重してくれた」が 25 件（17.6％）、「後ろ向きの情報提供・助言をされた」が 3 件（2.1％）となっている。



相談者（友人、学校の先輩・後輩）×勤務先種別

- ・友人、学校の先輩・後輩への相談と勤務先種別の関連を見ると、「前向きに勧めてくれた」と回答したのは、児童（保育所・こども園）が 64 件（90.1％）で最も高く、高齢者（入所系）が 10 件（58.8％）で低くなっている。

上段: 度数		問15で「3」を選んだ方のみお答えください。それぞれ、どのような意向でしたか。当てはまるものを全て選んでください。				
下段: %		合計	前向きに勧めてくれた	最終的には本人の意向を尊重してくれた	後ろ向きの情報提供・助言をされた	その他
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	142 100.0	113 79.6	25 17.6	3 2.1	1 0.7
	高齢者（入所系）	17 100.0	10 58.8	5 29.4	2 11.8	-
	高齢者（通所系）	5 100.0	4 80.0	1 20.0	-	-
	高齢者（訪問系）	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	1 20.0
	障害児・者（入所系）	14 100.0	10 71.4	4 28.6	-	-
	障害児・者（通所系）	18 100.0	12 66.7	6 33.3	-	-
	障害者（訪問系）	-	-	-	-	-
	児童（保育所・こども園）	71 100.0	64 90.1	6 8.5	1 1.4	-
	児童（保育所・こども園以外）	10 100.0	8 80.0	2 20.0	-	-
	その他	2 100.0	2 100.0	-	-	-

問 15-2 問 15-1 で「4」を選んだ方のみお答えください。どのような意向でしたか。
【FA】

【家族等】

- ・将来のお金や体力的にも自分で考えてやりなさいと肯定も否定もされなかった。
- ・大変だし向いてないと思うがやってみたら良いのでは？といったスタンス。
- ・反対された。

【先生（学校）】

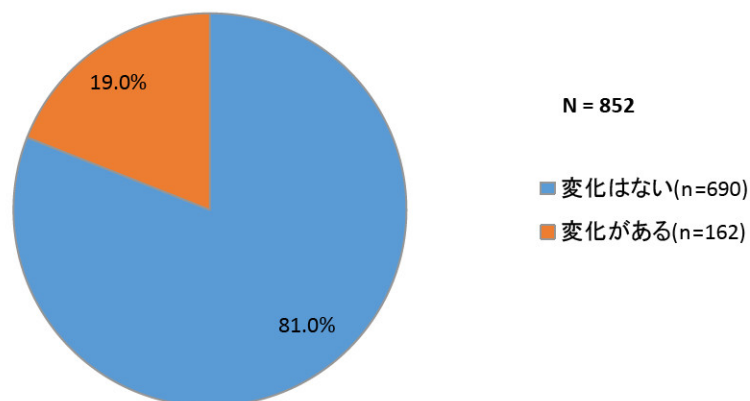
- ・「その他」の回答なし。

【友人、学校の先輩・後輩】

- ・賃金の安さ。

問 15-3 あなたが福祉の仕事に就労してから、家族等の福祉の仕事に対する印象に変化がありましたか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・福祉の仕事に就いてからの家族等の印象について、「変化はない」が 690 件（81.0%）、「変化がある」が 162 件（19.0%）となっている。



問 15－4 問 15－3で「2」を選んだ方のみお答えください。どのように変わりましたか。【FA】

- ・回答に関する構成は次のとおりとなり、保育士は、右の表のとおりネガティブな変化が76.0%となった。

上段:度数 下段:%			保育士 上段:度数 下段:%		
家族等の福祉の仕事に対する印象の変化	全体	156 100.0	家族等の福祉の仕事に対する印象の変化	全体	75 100.0
	ポジティブな変化	66 42.3		ポジティブな変化	14 18.7
	ネガティブな変化	79 50.6		ネガティブな変化	57 76.0
	その他の変化	11 7.1		その他の変化	4 5.3

- ・ポジティブな変化として、家族が福祉の仕事の重要性ややりがいを理解し、応援するようになり、また福祉活動の社会貢献度や具体的な業務内容についての知識が増えた点が挙げられている。
- ・一方、ネガティブな変化として、賃金などの就労条件への不満や精神的・肉体的負担、人間関係の複雑さに対する心配が増えた点があげられている。

ポジティブな変化

【理解の深化】

- ・家族が福祉の仕事の重要性ややりがいを理解し、応援してくれるようになった。
- ・福祉の仕事に対して興味や関心を持つようになった。
- ・福祉の仕事の具体的な業務内容や困難さを理解してもらえた。
- ・障害のある人や高齢者への理解が深まった。
- ・福祉活動の大切さを理解してもらえた。

【社会貢献の認識】

- ・福祉施設の社会貢献度が高いことに感心した。

【家族の協力と関心】

- ・家族が自身の老後について考えるきっかけになり、より協力的になった。
- ・親や親戚が福祉に対する見方や考え方を変え、より関心を持つようになった。

【その他】

- ・親に仕事の話をすることが増えて、福祉の仕事に対しての解像度が高くなったのか親の転職先も福祉系になった

ネガティブな変化【保育士以外】

【就労条件への不満】

- ・労働の割に賃金が低いという認識が強まった。
- ・残業が多く、不信感を持つようになった。

【精神的・肉体的負担】

- ・福祉の仕事が精神的にも身体的にも大変であることを理解し、心配されるようになった。
- ・仕事の過酷さやストレスに対する心配が増えた。

ネガティブな変化【保育士】

【就労条件への不満】

- ・労働内容や責任の割に賃金が低いという認識が強まった。
- ・残業や持ち帰り仕事の多さに驚き、不満を持つようになった。
- ・休みが取りにくいという認識が強まった。

【精神的・肉体的負担】

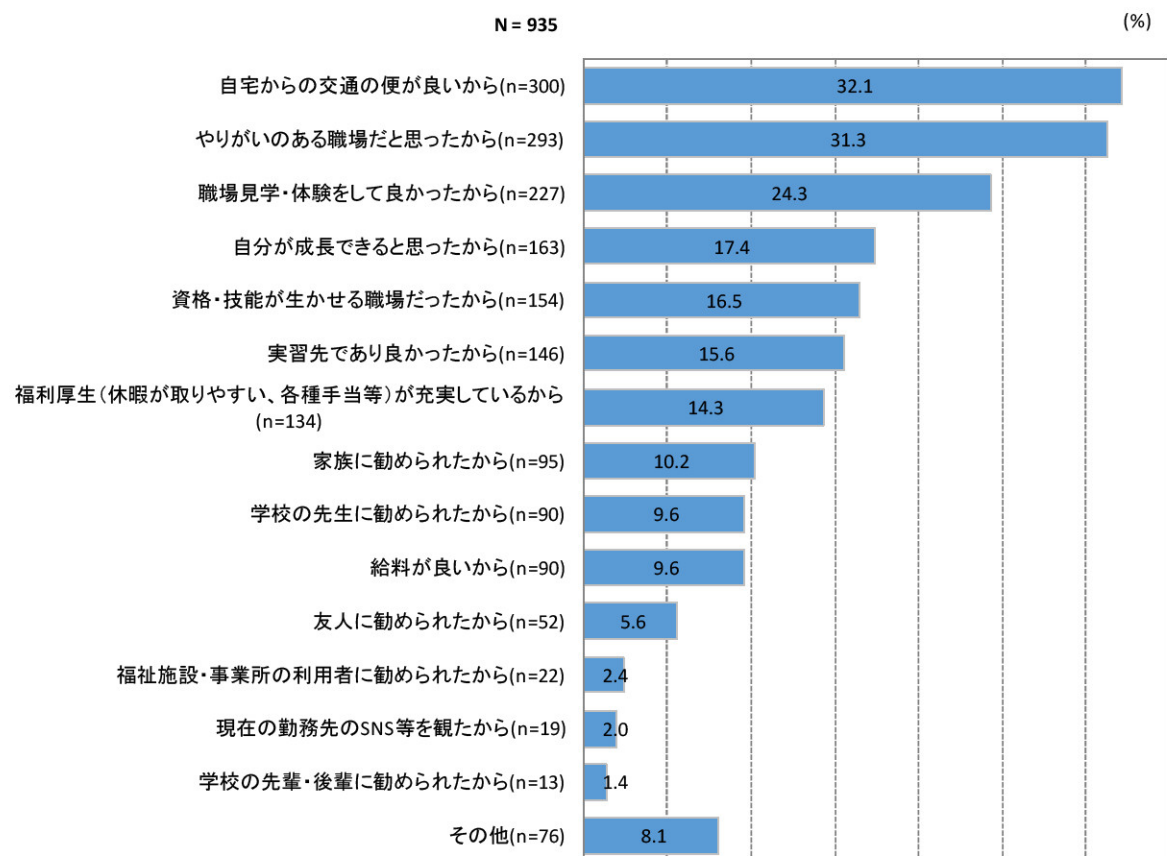
- ・仕事の過酷さやストレスに対する心配が増えた。

【人間関係の複雑さ】

- ・職場の人間関係が複雑であることを知り、不安を感じるようになった。

問 16 現在の勤務先への入職動機はなんですか。当てはまるものを全て選んでください。
【MA】

- ・現在の勤務先への入職動機について、最も多いのは「自宅からの交通の便が良いから」で 300 件（32.1%）となっており、次いで「やりがいのある職場だと思ったから」が 293 件（31.3%）、「職場見学・体験をして良かったから」が 227 件（24.3%）となっている。



【その他回答】

【憧れ】

憧れの先生がいたから

【職場の雰囲気・人間関係】

人間関係が良好だから / 今の職場で関わっている利用者さんが好きだから / 職員の人柄が良かったから / 働いている先生方がとても良い方々ばかりだったから / 学校の説明会で聞いて良かったと思ったから / 職員間の雰囲気がいいから / 面接を対応してくれた人がいい人だったから / 母園であり、知っている人が多かったため働きやすいと思ったから

【家族等の影響】

家族がいた / 母の元勤務先 / 家族が利用している施設の関係機関だったため / 親族の力になりたいと思ったから

【労働環境】

休みが自由 / 子供がいるので日勤帯で働ける / 企業内保育所があったから / ネイルや髪の色などが自由だったから / 保育園は基本土日休みなため / 奨学金制度があったから / 規則的な勤務形態であるため / 綺麗だったから / 託児所があったから / 子育てと両立できると思ったから

【資格を活かす・取得する】

国家資格を取得するため（実習免除等） / 資格取得を目指せるから / 資格取得のために学びやすそうだったから / 園見学の際に自分の学んだことが活かせる職場だと感じたから

【勸奨】

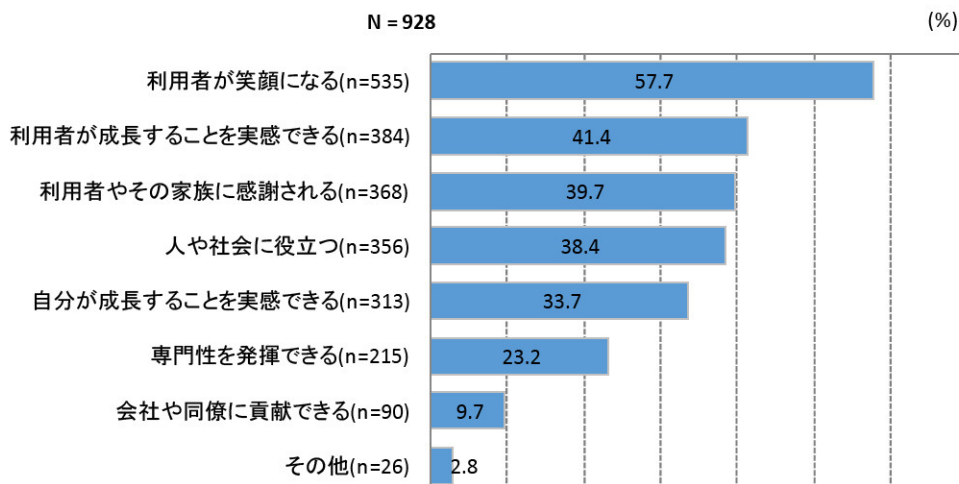
派遣会社に勧められた / 福祉施設職員の勧め / エージェントからの紹介 / 前職の同僚に誘われて / 施設側からの勧めで / 職員の方に勧められたから / 友人に頼まれた

【その他】

困っている人を助けたいと思ったから / 興味があったから / ホワイトと聞いていたから / ボランティア先であり良かったから / 父親が後天性半身麻痺を患っていて、将来的に介護できるようになるため / なんとなく / 特になし / 他になかったから / 市役所の配置で決まっている / 諸事情により栄養士が不在だったため / 働かないわけにいかなかったから / 異動のため / 適当 / ハローワークで見つけて親も勧めてくれたから / 奨学金を貰っていたところを落とされてしまい仕方なく入った / 数ある部署から障害者支援に配属されたから / 園の方針や規模感が理想と近かったから / 他の仕事を探すのも面倒で派遣で始めて働きやすいと感じたから / 精神科に興味があったから / 転居の都合 / オープニングスタッフとして求人が出ていたから / 体験したことのない職業だったから / 保育園の募集がここだけだったから / 公立であるため / 市役所が勤務先を決めました

問 17 現在の勤務先でやりがいを感じることはなんですか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・現在の勤務先でやりがいを感じることにについて、最も多いのは「利用者が笑顔になる」で 535 件（57.7%）となっており、次いで「利用者が成長することを実感できる」が 384 件（41.4%）、「利用者やその家族に感謝される」が 368 件（39.7%）となっている。



勤務先でやりがいを感じること × 勤務先種別

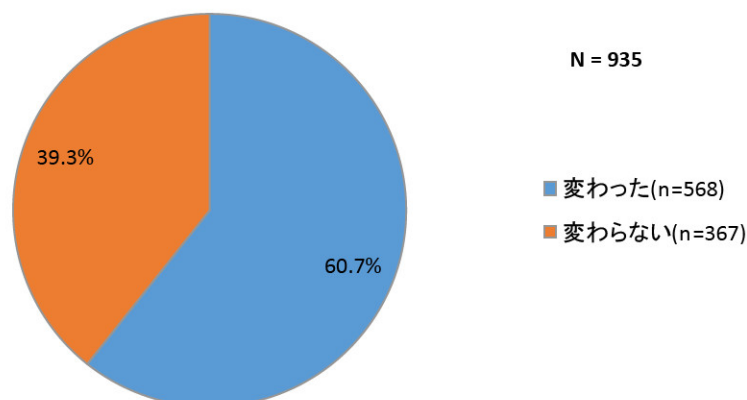
- ・勤務先でやりがいを感じることに勤務先種別の関連を見ると、最も多かったのが「利用者が笑顔になる」で、それぞれ高齢者（通所系）、障害者（訪問系）で 34 件（70.8%）、3 件（75.0%）となっている。また、障害児・者（通所系）、障害者（訪問系）、児童（保育所・こども園）、児童（保育所・こども園以外）では、「利用者が成長することを実感できる」が多くなっている。

また、高齢者（通所系）、高齢者（訪問系）、障害者（訪問系）では「利用者やその家族に感謝される」が高くなるなど、勤務先種別によって特徴がある。

上段: 度数		現在の勤務先でやりがいを感じることはなんですか。当てはまるものを全て選んでください。								
下段: %		合計	専門性を発揮できる	利用者やその家族に感謝される	利用者が笑顔になる	人や社会に役立つ	会社や同僚に貢献できる	利用者が成長することを実感できる	自分が成長することを実感できる	その他
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	920	211	364	529	349	89	383	309	26
		100.0	22.9	39.6	57.5	37.9	9.7	41.6	33.6	2.8
	高齢者（入所系）	148	28	60	84	70	21	9	46	6
		100.0	18.9	40.5	56.8	47.3	14.2	6.1	31.1	4.1
	高齢者（通所系）	48	10	27	34	18	3	6	13	1
		100.0	20.8	56.3	70.8	37.5	6.3	12.5	27.1	2.1
	高齢者（訪問系）	32	10	19	17	13	5	7	13	-
		100.0	31.3	59.4	53.1	40.6	15.6	21.9	40.6	-
	障害児・者（入所系）	90	11	27	58	30	10	21	25	3
		100.0	12.2	30.0	64.4	33.3	11.1	23.3	27.8	3.3
	障害児・者（通所系）	147	26	58	92	67	20	91	57	4
		100.0	17.7	39.5	62.6	45.6	13.6	61.9	38.8	2.7
	障害者（訪問系）	4	-	2	3	2	-	2	1	-
		100.0	-	50.0	75.0	50.0	-	50.0	25.0	-
	児童（保育所・こども園）	369	103	145	197	108	22	208	124	7
		100.0	27.9	39.3	53.4	29.3	6.0	56.4	33.6	1.9
	児童（保育所・こども園以外）	51	14	15	27	19	5	31	16	3
		100.0	27.5	29.4	52.9	37.3	9.8	60.8	31.4	5.9
	その他	31	9	11	17	22	3	8	14	2
		100.0	29.0	35.5	54.8	71.0	9.7	25.8	45.2	6.5

問 18 入職前と入職後では福祉の仕事に対するイメージが変わりましたか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・福祉の仕事に対するイメージの変化について、「変わった」が 568 件（60.7%）、「変わらない」が 367 件（39.3%）となっている。



問 18-1 問 18 で「1」を選んだ方のみお答えください。どのように変わったか教えてください。（例：労働条件が良い・悪い、身体的・精神的負担が小さい・大きい、DX が進んでいるなど）【FA】

- ・福祉の仕事に興味が増し、やりがいや楽しさを感じる一方で、身体的・精神的負担や労働条件の悪さ、賃金の低さが問題である。人間関係は事業所ごとに違いがあり、労働量や休みの取りにくさも課題となっている。

カテゴリ	合計	件数		
		ポジティブな変化	ネガティブな変化	その他の変化
全体	532	178	321	33
高齢者（入所系）	92	33	57	2
高齢者（通所系）	31	17	11	3
高齢者（訪問系）	15	7	5	3
障害児・者（入所系）	53	16	32	5
障害児・者（通所系）	77	38	34	5
障害者（訪問系）	1	0	1	0
児童（保育所・こども園）	215	50	157	8
児童（保育所・こども園以外）	31	10	16	5
その他	17	7	8	2

ポジティブな変化

【就労条件・環境】

- ・労働条件が良い。
- ・職場環境が悪いイメージがあったが、そんなことはなく各事業所で異なるということ。

【福祉への興味】

- ・今までよりも福祉への興味が大きくなった。
- ・福祉の仕事についての印象が変わった。
- ・以前より福祉について考えるようになった。

【やりがい】

- ・思ったよりもやりがい大きい。
- ・やりがいがある。
- ・やりがいを感じる。
- ・利用者と共に成長できる。
- ・仕事の達成感ややりがいは十分にあるが、その分責任が大きく、仕事量も多く残業や持ち帰り仕事もある。
- ・身体的・精神的な負担、責任が大きいですが、その分保育にしかない楽しさを感じられている。
- ・精神的負担や肉体的負担が大きいですが、やり甲斐のある仕事だと思い見方が変わった。

【楽しさと成長】

- ・とても仕事が楽しいということ。
- ・利用者と楽しく会話をして仕事ができる。
- ・自分が成長することを実感出来ている。
- ・子供がとても可愛いと感じるようになった。

【人間関係】

- ・職場の人間関係が良い。

ネガティブな変化【保育士以外】

【就労条件・環境】

- ・休みが取りづらい。
- ・仕事量が多い。
- ・労働条件が悪い。
- ・賃金が低い。
- ・給料が見合っていない、利用者からの暴言暴力が日常茶飯事。それに対しての福利厚生もなく人手が足りない。

【身体的負担】

- ・思っていた以上に体への負担が大きい。
- ・身体的負担が大きい。

【精神的負担】

- ・精神的負担が大きく、業務も多い。
- ・ストレスが溜まりやすい。

【人間関係】

- ・仕事は問題ないが、人間関係が大変です。
- ・仕事量の多さや人間関係の難しさ、精神面の負担が大きいと感じる。
- ・人間関係が悪いところが多い。

その他の変化

- ・施設によって働きやすさが違う。
- ・事業所によって特色が大きく違う。

ネガティブな変化【保育士】

【就労条件・環境】

- ・労働条件が悪い。
- ・休みが取りづらい。
- ・休憩がない。
- ・残業や持ち帰り業務が多い。
- ・仕事量が多い。
- ・労働内容と責任に給料が見合っていない。
- ・休みがあまりなくプライベートが充実できない。

【身体的負担】

- ・ 身体的負担が大きい。

【精神的負担】

- ・ 精神的負担が大きい。

【人間関係】

- ・ 人間関係が悪いところが多い。
- ・ 保護者の質が悪い。

問 18-2 問 18 で「2」を選んだ方のみお答えください。元々どのようなイメージだったか教えてください。（例：労働条件が良い・悪い、身体的・精神的負担が小さい・大きい、DX が進んでいるなど）【FA】

- ・全体を通じて、仕事に対するやりがいや社会貢献の意識が高い一方で、給与の低さや身体的・精神的負担、人間関係の難しさに対するネガティブな意見が多く見られた。

カテゴリ	合計	件数		
		ポジティブなイメージ	ネガティブなイメージ	その他のイメージ
全体	289	120	142	27
高齢者（入所系）	47	14	30	3
高齢者（通所系）	13	6	5	2
高齢者（訪問系）	10	5	5	0
障害児・者（入所系）	29	13	11	5
障害児・者（通所系）	52	20	25	7
障害者（訪問系）	2	1	1	0
児童（保育所・こども園）	105	47	49	9
児童（保育所・こども園以外）	19	9	9	1
その他	12	5	7	0

ポジティブなイメージ

【就労条件・環境】

- ・労働条件が良い。
- ・働きやすい環境。
- ・職員同士の支え合いがある。
- ・業務の大変さに対する理解とサポートの必要性。

【人間関係】

- ・職員同士の関係が良好。

【やりがいと社会的貢献】

- ・やりがいがある。
- ・人のためになる仕事。
- ・社会に必要不可欠な存在。
- ・子どもの成長を見守れる。

ネガティブなイメージ

【就労条件・環境】

- ・給料が少ない。
- ・労働条件が悪い。
- ・重労働、低賃金。
- ・サービス残業がある。
- ・夜勤がある。

【身体的・精神的負担】

- ・身体的負担が大きい。
- ・精神的負担が大きい。
- ・心身ともに負担が大きい。
- ・体力や精神力が必要。

【人間関係】

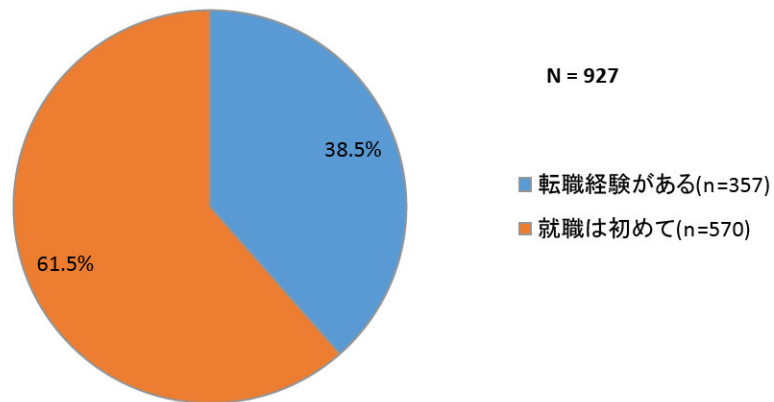
- ・人間関係が悪い。
- ・職員の退職者が多く、入れ替わりが激しい。
- ・女性が多く、人間関係が難しい。

その他のイメージ

- ・利用者を主体として考える仕事だということ。
- ・特にイメージはない。

問 20 転職経験はありますか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・転職経験について、「転職経験がある」が 357 件 (38.5%)、「就職は初めて」が 570 件 (61.5%) となっており、30 歳以下でも、およそ 4 割が転職経験があることになる。



転職経験×勤務先種別

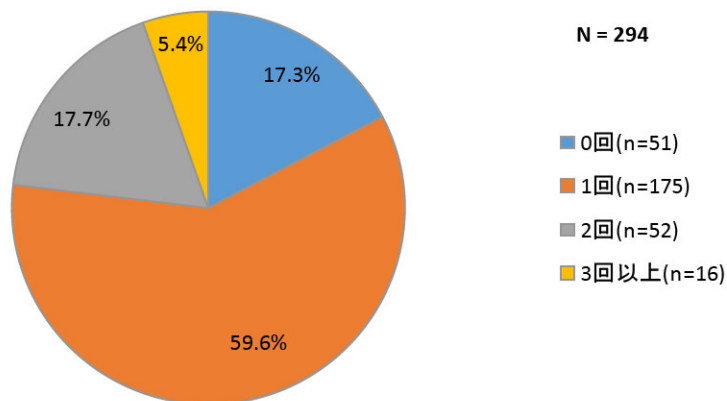
- ・転職経験と勤務先種別の関連を見ると、児童（保育所・こども園）、児童（保育所・こども園以外）が「就職は初めて」をそれぞれ 286 件（79.2%）、38 件（71.7%）で多くなっている。
- ・一方で、「転職経験がある」を回答し、転職経験のない人に比べて転職経験が多い勤務先種別は、障害者（訪問系）で 4 件（100.0%）、高齢者（訪問系）で 24 件（72.7%）、高齢者（通所系）で 33 件（67.3%）、障害児・者（通所系）で 87 件（58.8%）となっている。

	上段:度数 下段:%	転職経験はありますか。次から1つだけ選んでください。		
		合計	転職経験がある	就職は初めて
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	919 100.0	351 38.2	568 61.8
	高齢者(入所系)	149 100.0	66 44.3	83 55.7
	高齢者(通所系)	49 100.0	33 67.3	16 32.7
	高齢者(訪問系)	33 100.0	24 72.7	9 27.3
	障害児・者(入所系)	91 100.0	33 36.3	58 63.7
	障害児・者(通所系)	148 100.0	87 58.8	61 41.2
	障害者(訪問系)	4 100.0	4 100.0	- -
	児童(保育所・こども園)	361 100.0	75 20.8	286 79.2
	児童(保育所・こども園以外)	53 100.0	15 28.3	38 71.7
	その他	31 100.0	14 45.2	17 54.8

問 20-1 問 20 で「1」を選んだ方のみお答えください。転職の回数はどのくらいですか。当てはまるものを選んでください。【SA】

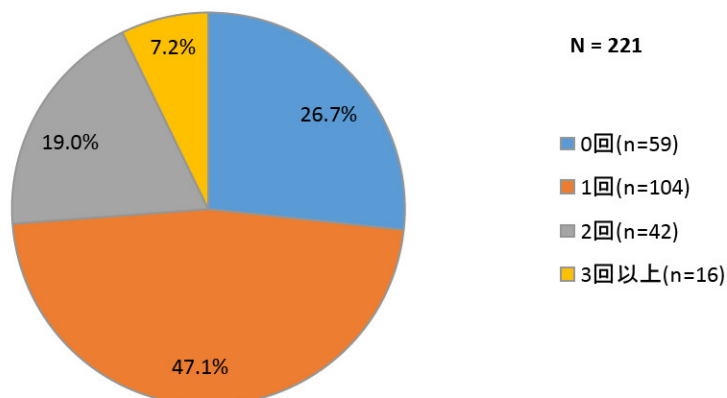
【福祉関係】

- ・福祉関係での転職回数について、最も多いのは「1回」で 175 件（59.6%）となっており、次いで「2回」が 52 件（17.7%）、「0回」が 51 件（17.3%）となっている。



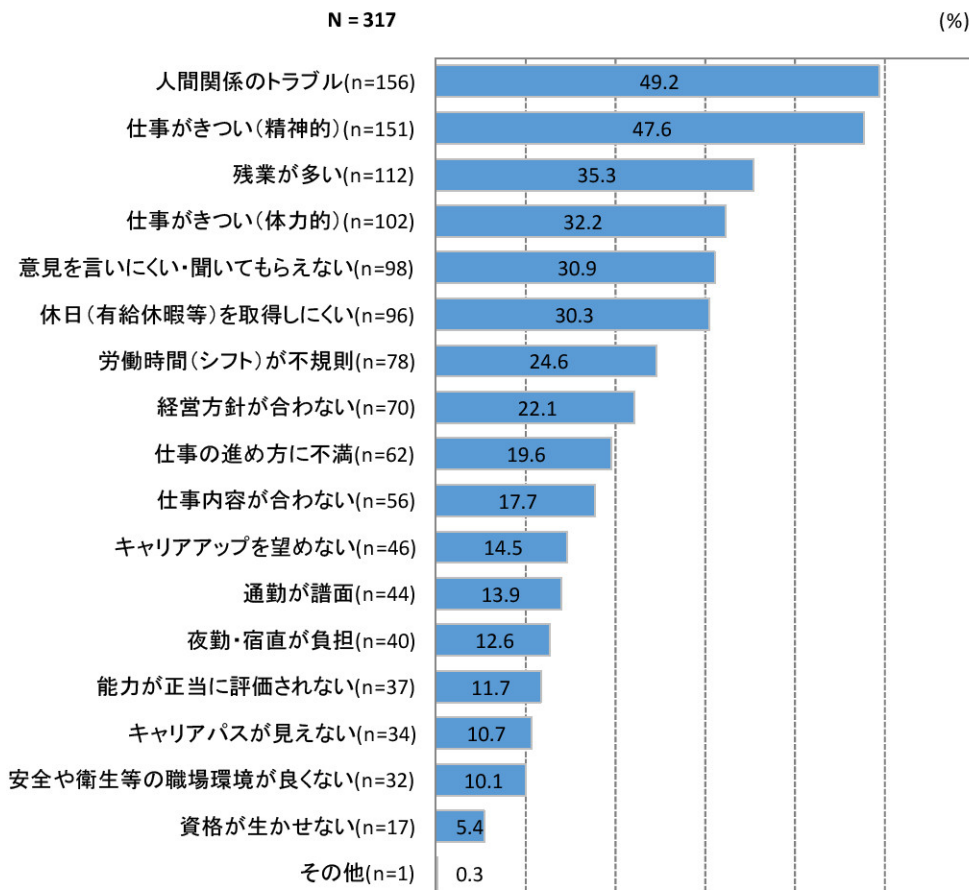
【福祉関係以外】

- ・福祉関係以外での転職回数について、最も多いのは「1回」で 104 件（47.1%）となっており、次いで「0回」が 59 件（26.7%）、「2回」が 42 件（19.0%）となっている。
- ・転職経験があると回答した 357 件の内、162 件（45.4%）が福祉関係以外から福祉業界への就職をしたことになる。



問 20—2 問 20 で「1」を選んだ方のみお答えください。労働環境を理由とする転職動機について、当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・労働環境を理由とする転職動機について、最も多いのは「人間関係のトラブル」で 156 件（49.2%）となっており、次いで「仕事がきつい（精神的）」が 151 件（47.6%）、「残業が多い」が 112 件（35.3%）となっている。



【その他回答】

契約満了の為、社会勉強のため

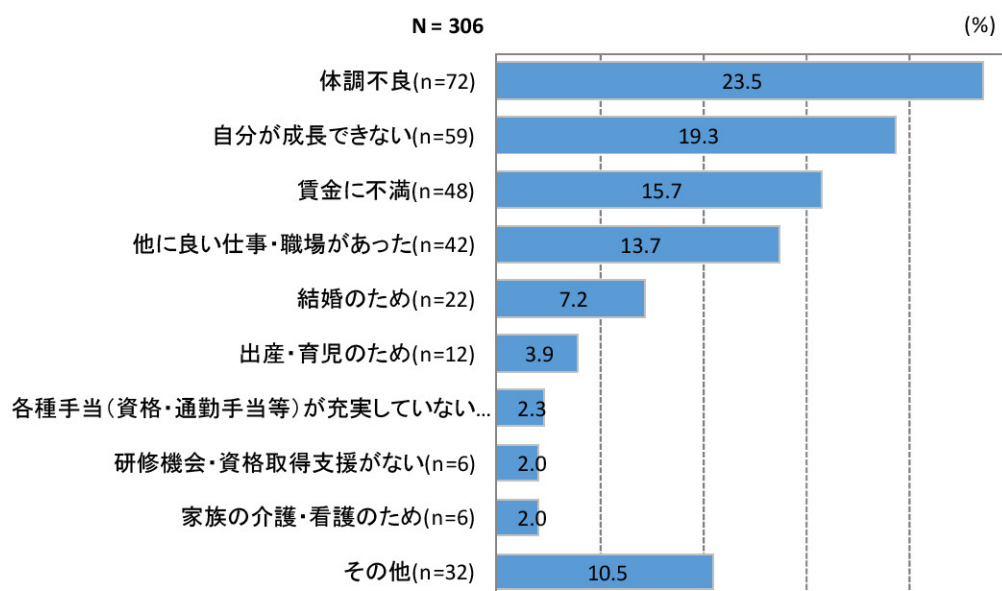
転職動機（休日（有給休暇）を取得しにくい）×現在の勤務先の有給休暇の取りやすさ

- ・労働環境を理由とする転職動機の内、「休日（有給休暇等）を取得しにくい」と現在の勤務先の有給休暇の取りやすさ（問 10）の関連を見ると、現在の勤務先の有給休暇を「取りやすい」と回答した 72.8%に比べて、87.5%が有給休暇を取りやすいと回答している。

上段:度数	問10 有給休暇は取りやすいですか。次から1つだけ選んでください。		
下段:%	合計	取りやすい	取りにくい
問20-2 休日(有給休暇等) を取得しにくい	96 100.0	84 87.5	12 12.5

問 20－3 問 20 で「1」を選んだ方のみお答えください。就労条件・自身の環境を理由とする転職動機について、当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・就労条件・自身の環境を理由とする転職動機について、最も多いのは「体調不良」で 72 件（23.5%）となっており、次いで「自分が成長できない」が 59 件（19.3%）、「賃金に不満」が 48 件（15.7%）となっている。



【その他回答】

【ポジティブ】

福祉に行きたいため / やりたいことをやるため / 大学入学の為 / パート勤務から正職になるため / スキルアップ

【ネガティブ】

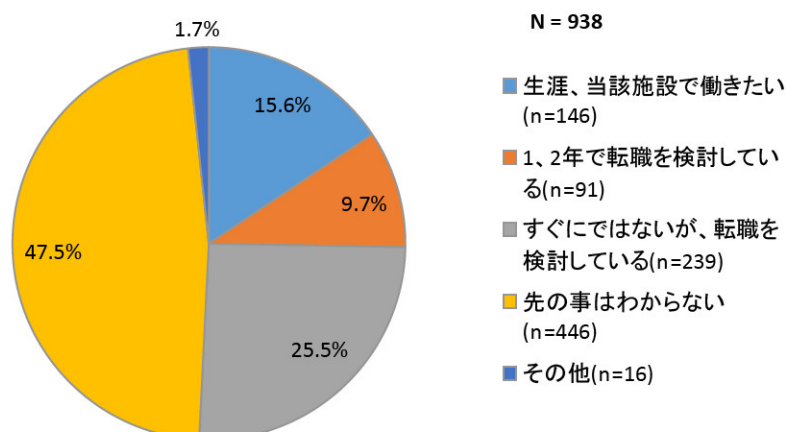
精神的に休憩できる時間がなかった / 有給を使わせてくれない / 会社と相性が合わない / 職場環境が悪かった / 寿命が縮みそうだった / 人間関係 / 労働環境、賃金に対する不満 / 夜勤があつて不規則な日が続き、だんだん仕事も増えていったとき精神的な負担が多かったため / 勤務、残業、介護職に対しての扱いの悪さ / 常に人手不足 / このままこの場所で勤務を続けると、自分のことをおざなりにしてしまうと思った

【その他】

引越しのため / 決めていた / 地元の役所に求人が出たため / 他に違う仕事をしてみたかったから / 離婚したため / 前の職場が閉所になった / 会社倒産

問 21 現在の勤務先で働き続けたいですか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・現在の勤務先で働き続けたいかについて、最も多いのは「先の事はわからない」で 446 件（47.5%）、次いで「すぐにではないが、転職を検討している」が 239 件（25.5%）、「生涯、当該施設で働きたい」が 146 件（15.6%）となっている。また、時期に限らず、転職を考えている人がおよそ 3 分の 1 いることになる。



【その他回答】

転職予定 / 今年中に転職予定 / 今すぐ転職したい / 今年度いっぱい退職する / 次年度には転職が決まっている / 来年の1月末で転職する / 3月末で退職が決まっている / 結婚の為年度末で退職 / 4月から他園で働く予定である / 内示によって異動がある / 福祉関係の仕事は続けたい / 管理者が変わったら考える / 県の奨学資金制度が終わるので、自分が行きたかった所へ転職を考えている / 労働環境が改善されなかったら転職を考える / 今後、体調不良が続く状況になった場合、転職を検討する

現在の勤務先で働き続けたいか×勤務先種別

- ・現在の勤務先で働き続けたいかと勤務先種別の関連を見ると、「生涯、当該施設で働きたい」としたのは、高齢者（訪問系）で8件（24.2%）、障害者（訪問系）で1件（25.0%）と比較的高く、いずれの勤務先種別でも「先の事はわからない」の回答が多い。

上段:度数		現在の勤務先で働き続けたいですか。次から1つだけ選んでください。					
下段:%		合計	生涯、当該施設で働きたい	1、2年で転職を検討している	すぐにでは無いが、転職を検討している	先の事はわからない	その他
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	930 100.0	141 15.2	91 9.8	239 25.7	443 47.6	16 1.7
	高齢者(入所系)	149 100.0	16 10.7	8 5.4	45 30.2	77 51.7	3 2.0
	高齢者(通所系)	49 100.0	8 16.3	3 6.1	13 26.5	24 49.0	1 2.0
	高齢者(訪問系)	33 100.0	8 24.2	3 9.1	7 21.2	15 45.5	- -
	障害児・者(入所系)	91 100.0	12 13.2	8 8.8	26 28.6	42 46.2	3 3.3
	障害児・者(通所系)	150 100.0	22 14.7	11 7.3	42 28.0	74 49.3	1 0.7
	障害者(訪問系)	4 100.0	1 25.0	- -	- -	3 75.0	- -
	児童(保育所・こども園)	370 100.0	62 16.8	47 12.7	86 23.2	169 45.7	6 1.6
	児童(保育所・こども園以外)	53 100.0	7 13.2	7 13.2	12 22.6	27 50.9	- -
	その他	31 100.0	5 16.1	4 12.9	8 25.8	12 38.7	2 6.5

現在の勤務先で働き続けたいか×雇用形態

- ・現在の勤務先で働き続けたいかと雇用形態の関連を見ると、有期契約のフルタイム雇用の5件（35.7%）で「生涯、当該施設で働きたい」とし、無期契約の短時間雇用、有期契約の短時間雇いで「先の事は分からない」としていることが多い。

上段:度数		現在の勤務先で働き続けたいですか。次から1つだけ選んでください。					
下段:%		合計	生涯、当該施設で働きたい	1、2年で転職を検討している	すぐにでは無いが、転職を検討している	先の事はわからない	その他
現在の雇用形態はなんですか。次から1つだけ選んでください。	全体	936 100.0	146 15.6	91 9.7	238 25.4	445 47.5	16 1.7
	正規職員	850 100.0	130 15.3	82 9.6	218 25.6	405 47.6	15 1.8
	無期契約のフルタイム雇用(正規職員以外)	35 100.0	5 14.3	5 14.3	13 37.1	12 34.3	- -
	無期契約の短時間雇用	17 100.0	3 17.6	1 5.9	2 11.8	11 64.7	- -
	有期契約のフルタイム雇用	14 100.0	5 35.7	2 14.3	3 21.4	4 28.6	- -
	有期契約の短時間雇用	20 100.0	3 15.0	1 5.0	2 10.0	13 65.0	1 5.0

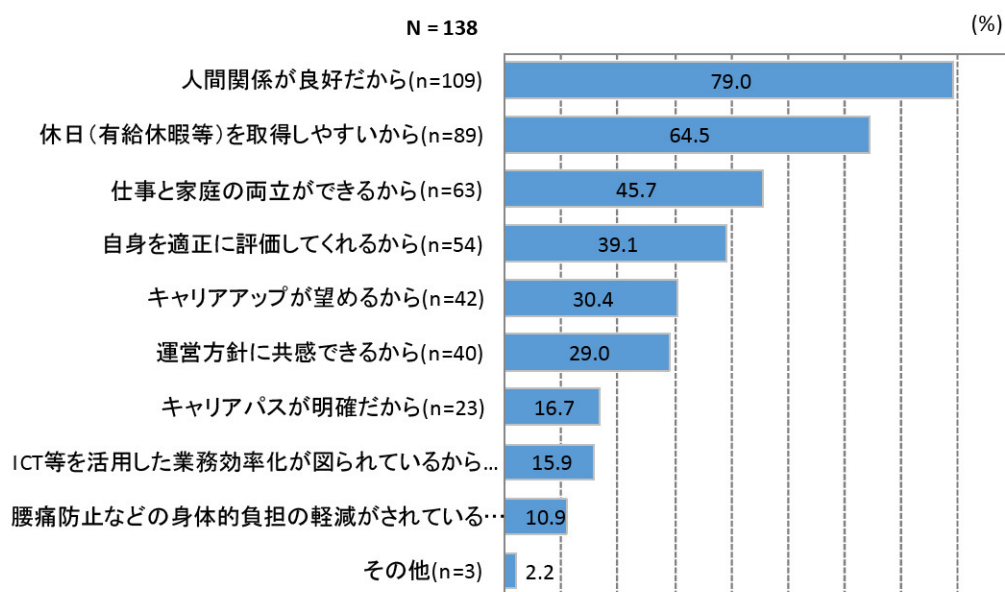
「生涯、当該施設で働きたい」×現在の勤務先を決めたきっかけ

- ・現在の勤務先を決めたきっかけと「生涯、当該施設で働きたい」とした人の関連をみると、「親・兄弟」が25件（23.8%）で、「福祉人材センター」が4件（23.5%）、「学校の先輩・後輩」が8件（22.9%）、「施設の利用者」が4件（22.2%）と続く。
- ・一方で、「人材紹介会社・エージェント」を活用した場合、「生涯、当該施設で働きたい」が8件（9.6%）で最も低くなっている。

上段:度数 下段:%		現在の勤務先で働き続けたいですか。次から1つだけ選んでください。					
		合計	生涯、当該施設で働きたい	1、2年で転職を検討している	すぐにではないが、転職を検討している	先の事はわからない	その他
現在の勤務先を決めたきっかけは下記のいずれですか。当てはまるものを全て選んでください。	全体	935 100.0	146 15.6	91 9.7	238 25.5	444 47.5	16 1.7
	福祉人材センター	17 100.0	4 23.5	-	7 41.2	6 35.3	-
	ハローワーク	89 100.0	17 19.1	5 5.6	18 20.2	46 51.7	3 3.4
	学校	289 100.0	39 13.5	31 10.7	72 24.9	146 50.5	1 0.3
	学校の先輩・後輩	35 100.0	8 22.9	1 2.9	7 20.0	18 51.4	1 2.9
	友人	70 100.0	11 15.7	12 17.1	12 17.1	34 48.6	1 1.4
	親・兄弟	105 100.0	25 23.8	4 3.8	19 18.1	55 52.4	2 1.9
	親戚	32 100.0	6 18.8	1 3.1	4 12.5	21 65.6	-
	施設の利用者	18 100.0	4 22.2	-	1 5.6	12 66.7	1 5.6
	施設の職員	82 100.0	14 17.1	10 12.2	21 25.6	36 43.9	1 1.2
	施設・事業所のホームページやSNS	126 100.0	22 17.5	11 8.7	20 15.9	72 57.1	1 0.8
	折り込みチラシなどの求人情報誌	20 100.0	3 15.0	1 5.0	8 40.0	8 40.0	-
	インターネット求人広告	87 100.0	12 13.8	13 14.9	29 33.3	32 36.8	1 1.1
	人材紹介会社・エージェント	83 100.0	8 9.6	6 7.2	23 27.7	43 51.8	3 3.6
	その他	99 100.0	16 16.2	14 14.1	34 34.3	31 31.3	4 4.0

問 21－1 問 21 で「1」を選んだ方のみお答えください。労働環境を理由とする働き続けたい理由について、当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・労働環境を理由とする働き続けたい理由について、最も多いのは「人間関係が良好だから」で 109 件（79.0%）となっており、次いで「休日（有給休暇等）を取得しやすいから」が 89 件（64.5%）、「仕事家庭の両立ができるから」が 63 件（45.7%）となっている。

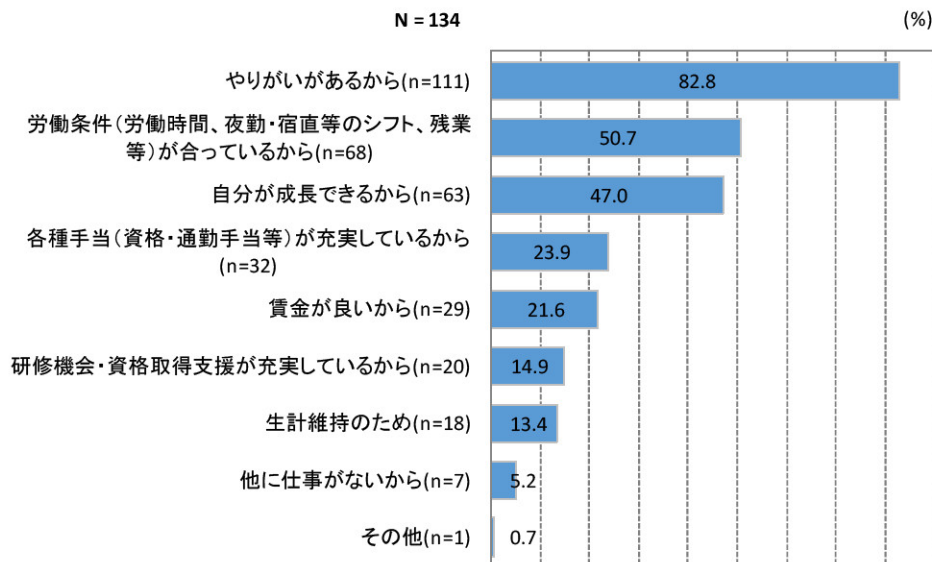


【その他回答】

とてもいい

問 21－2 問 21 で「1」を選んだ方のみお答えください。就労条件・自身の環境を理由とする働き続けたい理由について、当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・就労条件・自身の環境を理由とする働き続けたい理由について、最も多いのは「やりがいがあるから」で 111 件（82.8%）となっており、次いで「労働条件（労働時間、夜勤・宿直等のシフト、残業等）が合っているから」が 68 件（50.7%）、「自分が成長できるから」が 63 件（47.0%）となっている。

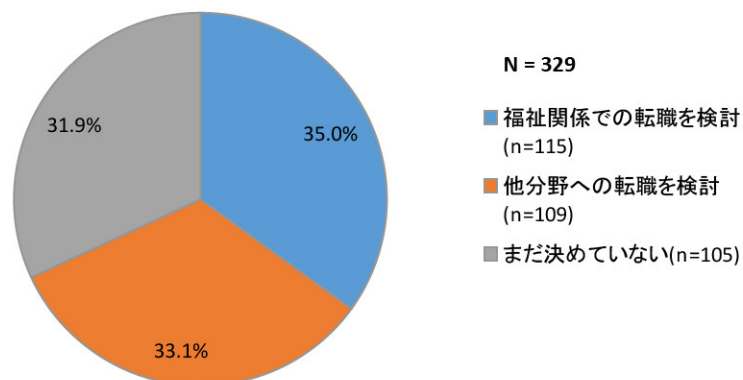


【その他回答】

職場が家から近いから

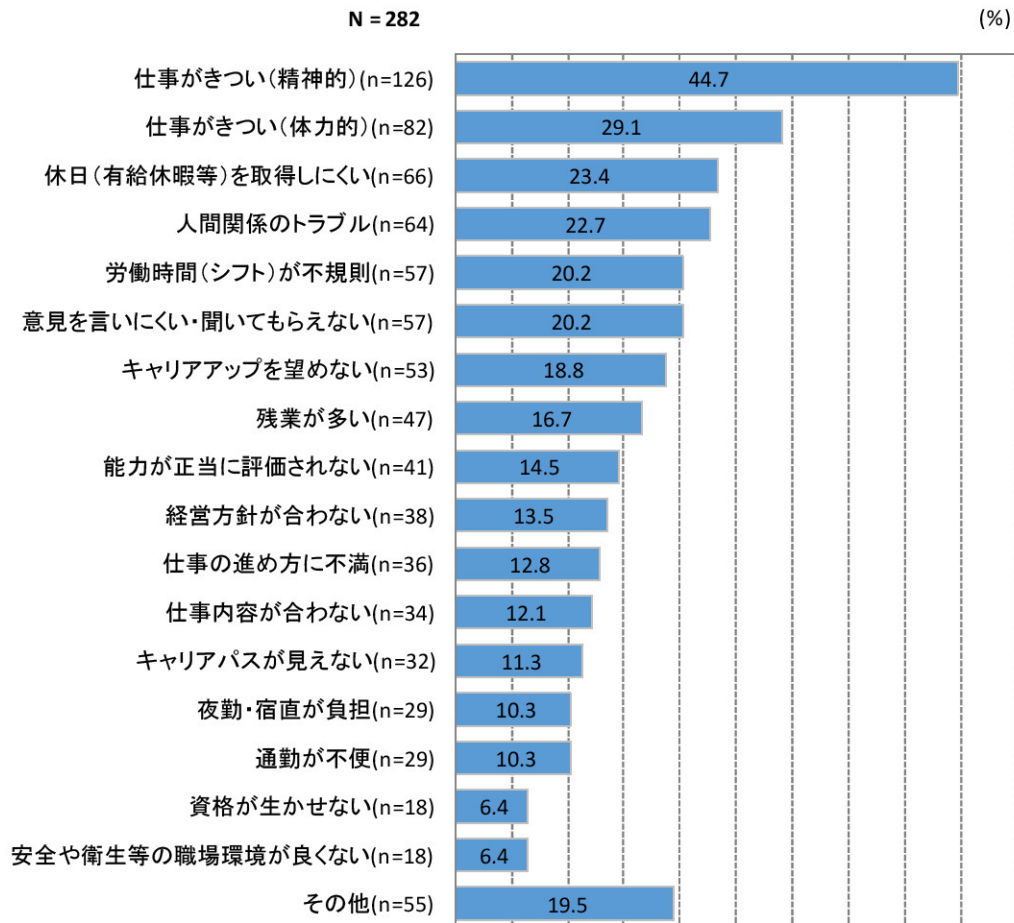
問 21－3 問 21 で「2」または「3」を選んだ方のみお答えください。転職先として検討している分野はどちらですか。次から 1 つだけ選んでください。【SA】

- ・転職先として検討している分野について、最も多いのは「福祉関係での転職を検討」で 115 件（35.0%）となっており、次いで「他分野への転職を検討」が 109 件（33.1%）、「まだ決めていない」が 105 件（31.9%）となっている。



問 21－4 問 21 で「2」または「3」を選んだ方のみお答えください。現在の勤務先から転職を検討している労働環境に関する理由について、当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・転職を検討している労働環境に関する理由について、最も多いのは「仕事がきつい（精神的）」で 126 件（44.7%）となっており、次いで「仕事がきつい（体力的）」が 82 件（29.1%）、「休日（有給休暇等）を取得しにくい」が 66 件（23.4%）となっている。



【その他回答】

家族経営で働きにくい / 古い考え方や価値観 / パワハラや人間関係の問題 / 人手不足で負担が大きい / 残業代が出ない / 育児との両立が困難

その他：給与に関する不満等、就労条件・自身の環境に関する理由について述べられているものが多数あった。

転職を検討している労働環境に関する理由×勤務先種別

- ・ 転職を検討している労働環境に関する理由と勤務先種別の関連を見ると、障害児・者（入所系）は、「仕事がつい（体力的）」、「仕事がつい（精神的）」、「労働時間（シフト）が不規則」、「夜勤・宿直が負担」が高く、それぞれ 45.2%、51.6%、51.6%、38.7%となっている。また、児童（保育所・こども園）では、「仕事がつい（精神的）」、「残業が多い」、「休日（有給休暇等）を取得しにくい」が他の勤務先種別と比べて最も高く、それぞれ 56.0%、26.7%、34.5%となっている。

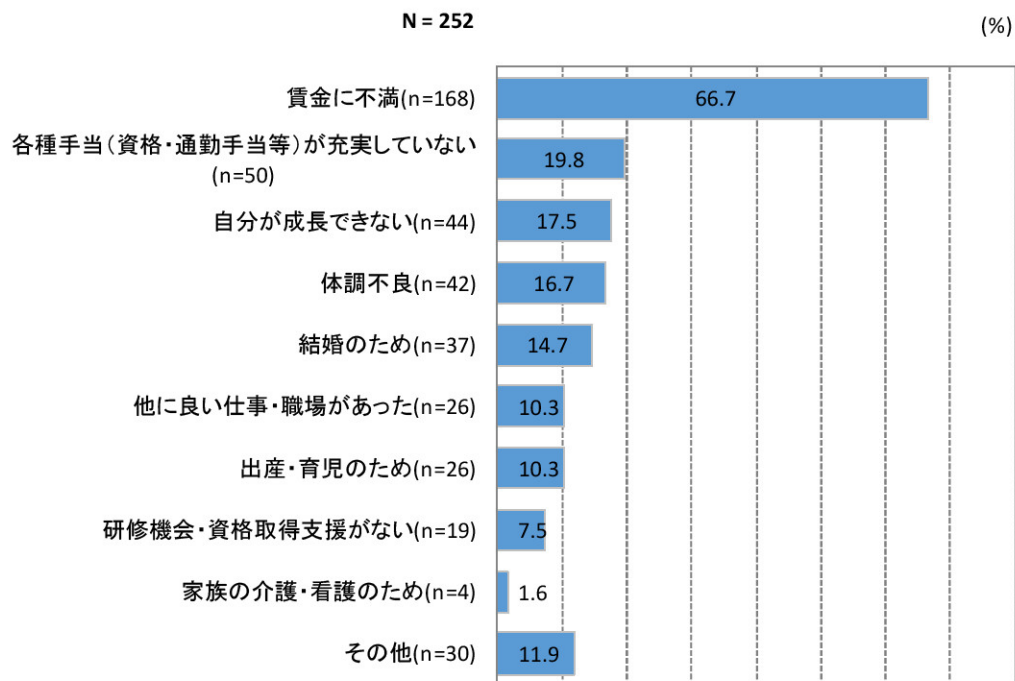
「人間関係のトラブル」では、高齢者（通所系）、児童（保育所・こども園以外）で、40%を超えている。

上段: 度数		問21で「2」または「3」を選んだ方のみお答えください。現在の勤務先から転職を検討している労働環境に関する理由について、当てはまるものを全て選んでください。									
下段: %		合計	人間関係のトラブル	仕事がつい(体力的)	仕事がつい(精神的)	労働時間(シフト)が不規則	夜勤・宿直が負担	残業が多い	休日(有給休暇等)を取得しにくい	キャリアパスが見えない	キャリアアップを望めない
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	282 100.0	64 22.7	82 29.1	126 44.7	57 20.2	29 10.3	47 16.7	66 23.4	32 11.3	53 18.8
	高齢者(入所系)	45 100.0	11 24.4	17 37.8	14 31.1	12 26.7	9 20.0	2 4.4	5 11.1	4 8.9	12 26.7
	高齢者(通所系)	12 100.0	5 41.7	2 16.7	5 41.7	1 8.3	-	2 16.7	3 25.0	1 8.3	2 16.7
	高齢者(訪問系)	6 100.0	-	2 33.3	-	1 16.7	-	-	-	-	-
	障害児・者(入所系)	31 100.0	9 29.0	14 45.2	16 51.6	16 51.6	12 38.7	4 12.9	7 22.6	6 19.4	7 22.6
	障害児・者(通所系)	44 100.0	1 2.3	8 18.2	16 36.4	3 6.8	2 4.5	5 11.4	5 11.4	10 22.7	13 29.5
	障害児(訪問系)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童(保育所・こども園)	116 100.0	29 25.0	34 29.3	65 56.0	21 18.1	1 0.9	31 26.7	40 34.5	8 6.9	15 12.9
	児童(保育所・こども園以外)	18 100.0	8 44.4	3 16.7	8 44.4	2 11.1	3 16.7	2 11.1	4 22.2	3 16.7	2 11.1
	その他	10 100.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	-	2 20.0

上段:度数		問21で「2」または「3」を選んだ方のみお答えください。現在の勤務先から転職を検討している労働環境に関する理由について、当てはまるものを全て選んでください。									
下段:%		能力が正當に評価されない	資格が生かせない	仕事の進め方に不満	経営方針が合わない	意見を言にくい・聞いてもらえない	安全や衛生等の職場環境が良くない	通勤が不便	仕事内容が合わない	その他	
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	41 14.5	18 6.4	36 12.8	38 13.5	57 20.2	18 6.4	29 10.3	34 12.1	55 19.5	
	高齢者(入所系)	6 13.3	2 4.4	4 8.9	6 13.3	5 11.1	3 6.7	7 15.6	6 13.3	4 8.9	
	高齢者(通所系)	3 25.0	-	-	1 8.3	1 8.3	1 8.3	-	-	3 25.0	
	高齢者(訪問系)	2 33.3	-	1 16.7	-	2 33.3	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	
	障害児・者(入所系)	6 19.4	4 12.9	6 19.4	3 9.7	6 19.4	2 6.5	3 9.7	6 19.4	6 19.4	
	障害児・者(通所系)	8 18.2	5 11.4	7 15.9	8 18.2	9 20.5	3 6.8	4 9.1	1 2.3	10 22.7	
	障害者(訪問系)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	児童(保育所・こども園)	11 9.5	4 3.4	15 12.9	13 11.2	30 25.9	8 6.9	11 9.5	15 12.9	26 22.4	
	児童(保育所・こども園以外)	4 22.2	2 11.1	3 16.7	6 33.3	3 16.7	-	2 11.1	4 22.2	3 16.7	
	その他	1 10.0	1 10.0	-	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0

問 21ー5 問 21 で「2」または「3」を選んだ方のみお答えください。現在の勤務先から転職を検討している就労条件・自身の環境に関する理由について、当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・転職を検討している就労条件・自身の環境に関する理由について、最も多いのは「賃金に不満」で 168 件（66.7%）となっており、次いで「各種手当（資格・通勤手当等）が充実していない」が 50 件（19.8%）、「自分が成長できない」が 44 件（17.5%）となっている。



【その他回答】

【ポジティブ】

やりたい事がある / 資格取得予定のため / やりたい分野がある / 今の職場に不満は無い / 様々な分野を経験したい / 他のことにも挑戦してみたい / 病棟勤務を経験したい / 経験値をあげたいから

【ネガティブ】

精神的負担が大きい / 労働規則を見せてくれずどのような休暇がありどのような制度なのか全く分からない / 仕事と家庭の両立が難しい / 方針が合わない / 人間関係がしんどい / 常に人手不足 / 資格を取りに行けない

【どちらともいえない】

理由はない / 資格習得に向けて就職したため。その後は別の会社を考えている為 / 自分の家庭と職場を分けられずに一日中イライラして当たってくる先輩がいないところに就職したいため / 転居 / 資格が取れたら生かしたいし家族のフォローもしたいから / 分からない / 指示待ち職員が多い・上司が部下に指示できていない・そもそも仕事内容を理解していないししようとしていないため指示できない

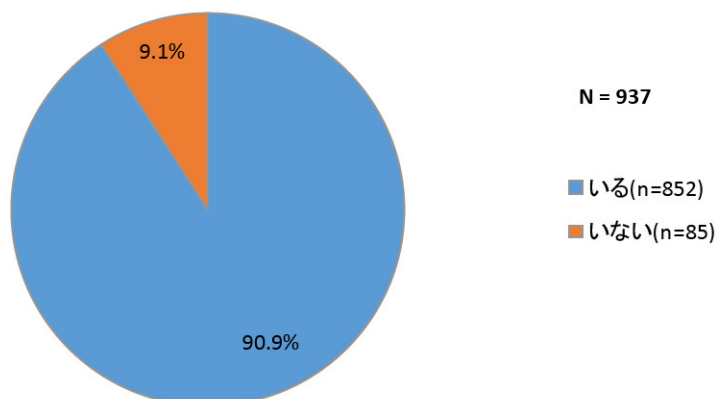
転職を検討している就労条件・自身の環境に関する理由×勤務先種別

- ・転職を検討している就労条件・自身の環境に関する理由と勤務先種別の関連を見ると、どの種別においても賃金や手当への不満が高い。
- ・児童（保育所・こども園）、児童（保育所・こども園以外）では、「出産・育児のため」が、他の種別に比べて高くなっている。

上段：度数		問21で「2」または「3」を選んだ方のみお答えください。現在の勤務先から転職を検討している就労条件・自身の環境に関する理由について、当てはまるものを全て選んでください。										
下段：%		合計	体調不良	賃金に不満	各種手当（資格・通勤手当等）が充実していない	研修機会・資格取得支援がない	他に良い仕事・職場があった	結婚のため	出産・育児のため	家族の介護・看護のため	自分が成長できない	その他
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	252 100.0	42 16.7	168 66.7	50 19.8	19 7.5	26 10.3	37 14.7	26 10.3	4 1.6	44 17.5	30 11.9
	高齢者（入所系）	38 100.0	7 18.4	23 60.5	9 23.7	4 10.5	5 13.2	- -	1 2.6	- -	9 23.7	5 13.2
	高齢者（通所系）	10 100.0	2 20.0	9 90.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 20.0	1 10.0
	高齢者（訪問系）	6 100.0	- -	5 83.3	2 33.3	- -	1 16.7	2 33.3	- -	- -	- -	2 33.3
	障害児・者（入所系）	28 100.0	5 17.9	18 64.3	4 14.3	3 10.7	1 3.6	4 14.3	3 10.7	1 3.6	3 10.7	5 17.9
	障害児・者（通所系）	41 100.0	2 4.9	28 68.3	12 29.3	6 14.6	6 14.6	8 19.5	4 9.8	1 2.4	10 24.4	3 7.3
	障害児（訪問系）	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	児童（保育所・こども園）	106 100.0	20 18.9	74 69.8	19 17.9	6 5.7	12 11.3	19 17.9	13 12.3	- -	16 15.1	9 8.5
	児童（保育所・こども園以外）	14 100.0	5 35.7	6 42.9	2 14.3	- -	- -	1 7.1	3 21.4	1 7.1	2 14.3	3 21.4
	その他	9 100.0	1 11.1	5 55.6	2 22.2	- -	1 11.1	3 33.3	2 22.2	1 11.1	2 22.2	2 22.2

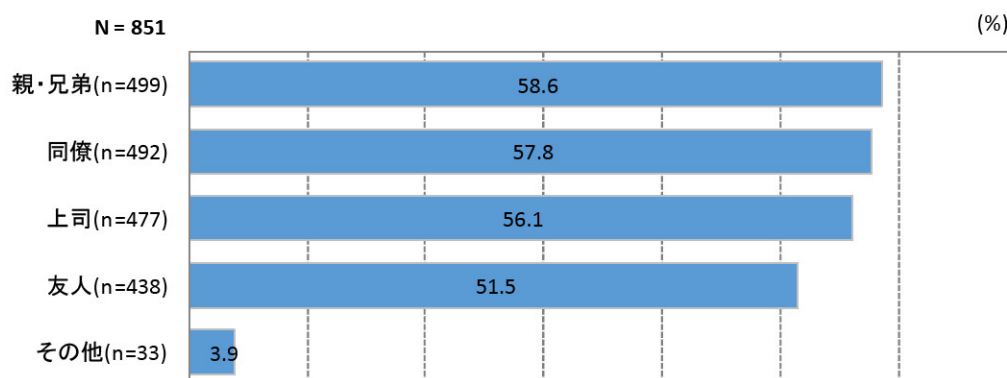
問 22 職場で困りごとがあったときに、相談できる方がいますか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・職場で困りごとがあったときに相談できる方がいるかについて、「いる」が 852 件（90.9%）、「いない」が 85 件（9.1%）となっている。



問 22-1 問 22 で「1」を選んだ方のみお答えください。相談できる方はどなたですか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・相談できる方について、最も多いのは「親・兄弟」で 499 件（58.6%）となっており、次いで「同僚」が 492 件（57.8%）、「上司」が 477 件（56.1%）となっている。
- ・職場内の「上司」、「同僚」のいずれか、または両方に相談できると回答した人は 691 件となっている。

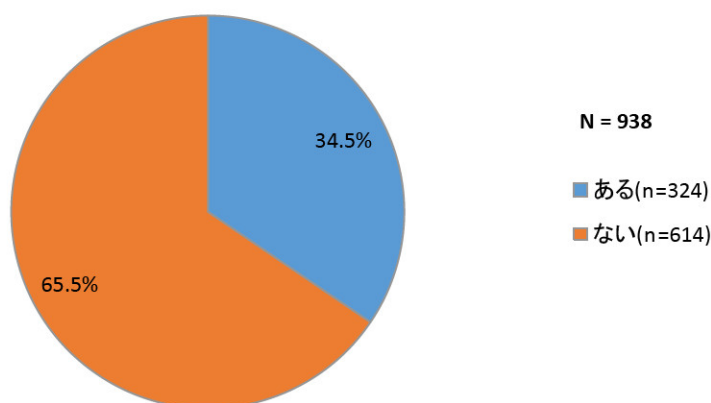


【その他回答】

夫 / 家族 / 配偶者 / 恋人 / 親戚 / 同居人 / 前職の同僚 / 職場以外の友人 / 社長 / 先輩 / 後輩 / 仲の良い先輩 / 職場の先輩 / 同期 / 同じ係の人

問 23 今、困っていることはありますか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・今困っていることについて、「ある」が 324 件（34.5%）、「ない」が 614 件（65.5%）となっている。



今、困っていること×職種

- ・今、困っていることと職種の関連を見ると、困りごとが「ある」と回答したのは、児童指導員（48.0％）が最も多く、次いで、相談員（43.8％）、訪問介護員（40.0％）、生活支援員（40.0％）となっている。

	上段:度数 下段:%	今、困っていることはありますか。紐ぐから1つだけ選んでください。		
		合計	ある	ない
現在の職種を次から1つだけ選んでください。	全体	933 100.0	323 34.6	610 65.4
	介護職	171 100.0	61 35.7	110 64.3
	訪問介護員	10 100.0	4 40.0	6 60.0
	保育士	406 100.0	128 31.5	278 68.5
	児童指導員	75 100.0	36 48.0	39 52.0
	相談員	16 100.0	7 43.8	9 56.3
	生活支援員	100 100.0	40 40.0	60 60.0
	指導員	24 100.0	7 29.2	17 70.8
	看護職	35 100.0	10 28.6	25 71.4
	事務職	24 100.0	6 25.0	18 75.0
	リハビリ専門職	28 100.0	11 39.3	17 60.7
	その他	44 100.0	13 29.5	31 70.5

問 23－1 問 23 で「1」を選んだ方のみお答えください。どんなことにお困りですか。

【FA】

- ・職場の人間関係や業務量の多さ、給与の低さなどが大きな問題として挙げられている。特に対人関係のトラブルや上司の対応、育児との両立が困難であることが目立つ。また、転職を考えているが、家庭事情や労働環境の改善が見込めないことから辞めるに辞められない状況も見られる。

○保育士以外

【給与に関する懸念】

- ・転職先をどこにしようか、このままの給与で大丈夫だろうか。
- ・基本給が低すぎる。
- ・給与が上がらないため副業を頑張ってます。

【職場の人間関係】

- ・使えない職員が多すぎている。
- ・殺気立っている職員といると仕事しづらい。
- ・部署内の人間関係が悪くなりつつある。嫌いな人と関わらなくてはいけない。上司が忙しすぎて相談しづらい。

【利用者との関係】

- ・利用者様に声掛けをしても全く反応をして下さらない、他職員が声掛けをした際には笑顔で話している。
- ・利用者からのセクハラ発言を心の余裕がないときには受け流せない。
- ・利用者の高齢化に伴い生活や日課の見直しが必要な状況とを感じるが未だ改善されていない。

【子育てと仕事の両立】

- ・育児をしながら、働き続けること子を育てるのにお金は必要なので、仕事は続けていきたい。
- ・子育てと両立して常勤として働く方法について。

【業務量の多さ】

- ・業務内容と賃金が全く割に合っていない。
- ・業務量が多く、休みが少ない。
- ・業務内容の改善をしてほしい。

【上司の態度】

- ・上司の勤務態度が悪い。

- ・上司の機嫌に波があり気を使う。

【体調管理】

- ・ストレスなどにより病気することが増えた。
- ・体や気持ちを休める事がうまくできないでいる。

【転職】

- ・辞めたいのに言えない。
- ・子育てにお金がかかる為、今後は今よりも良い条件の所へ転職したい。

【人間関係のトラブル】

- ・人間関係のトラブル。

【その他】

- ・複合的な課題に直面した際の対応方法。
- ・自分のミスが多い、成長が遅い。
- ・自らのスキルアップができていない。
- ・キャリアアップ。

○保育士

【給与に関する懸念】

- ・給料の低さ、チームワークが取れていない（上司）、アップデートしていない、相談をしても寄り添いがなく改善されない。
- ・給料が低いこと。保育士だけでなく福祉全体の給料を、あげて欲しい。物価高でこれから育児や家庭を築きたくてもお金の不安があり、出来ない。

【業務量の多さ】

- ・業務量が多い(クラス運営や配慮の必要な子どもへの関わり方支援の仕方、事務など)。

【労働環境】

- ・休みが取りにくい、雰囲気良くない。
- ・休憩が取れない。
- ・職場の人間関係。
- ・意見を言いづらい。

【上司の態度】

- ・信頼出来る上司が職場にいない。
- ・上司の機嫌に波があり気を使う。

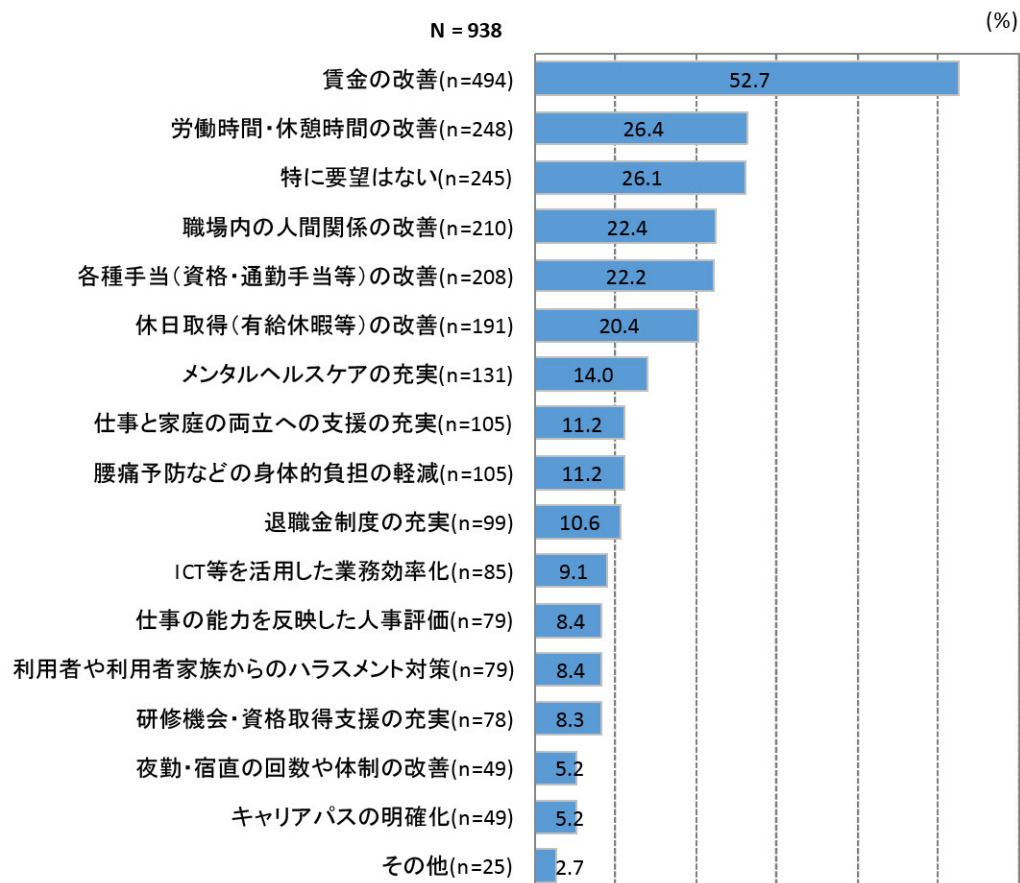
【その他】

- ・ 転職したいけど、家庭事情などで出来ない。
- ・ 仕事をしていてやりがいを感じない。

問 24 現在の勤務先への要望はありますか。当てはまるものを全て選んでください。

【MA】

- ・現在の勤務先への要望について、最も多いのは「賃金の改善」で 494 件（52.7%）となっており、次いで「労働時間・休憩時間の改善」が 248 件（26.4%）、「職場内の人間関係の改善」が 210 件（22.4%）となっている。
- ・なお、「特に要望はない」が 245 件（26.1%）となっている。



【その他回答】

【人員】

人手不足の解消 / 安定した（長く続く）人材 / 適材適所

【労働環境】

職員の監視目的の監視カメラの廃止 / 職場の設備等について改善して欲しい

【就労条件】

退職金制度を取り入れてほしい / 残業代が欲しい。時間外手当が三十分単位でしかもらえない / 土曜出勤振り替え / ガソリン代が高騰しているが交通費が上がっていない為自己負担額がどんどん上がっている / 交代で旅行に行けるような休暇が欲しい / 昼休み、休憩時間がないため必ず1時間の休憩がほしい

【業務】

仕事の内容 / 職員同士の連携ができてない / 医療ケアの仕事をもっととってほしい / 掃除の仕事が多いのがいやだ / 仕事量が多い / 仕事の分割

【その他】

上司の部下の扱い方 / 評価の方法 / 入職したての職員に対する何ヶ月か置きに相談の場があったらいいなと思います / 髪色の自由化

現在の勤務先への要望×勤務先種別

- ・現在の勤務先への要望と勤務先種別の関連を見ると、「賃金の改善」以外では、「労働時間・休憩時間の改善」で児童（保育所・こども園）が135件（36.5%）、児童（保育所・こども園以外）が21件（39.6%）で要望が強く、「休日取得（有給休暇等）の改善」も児童（保育所・こども園）が99件（26.8%）、児童（保育所・こども園以外）が15件（28.3%）で他の種別に比べて高くなっている。

上段: 度数		現在の勤務先への要望はありますか。当てはまるものを全て選んでください。						
下段: %		合計	賃金の改善	労働時間・休憩時間の改善	特に要望はない	職場内の人間関係の改善	各種手当(資格・通勤手当等)の改善	休日取得(有給休暇等)の改善
現在の勤務先の種別を次から1つだけ選んでください。	全体	931 100.0	493 53.0	248 26.6	241 25.9	210 22.6	208 22.3	191 20.5
	高齢者(入所系)	152 100.0	83 54.6	20 13.2	40 26.3	37 24.3	38 25.0	17 11.2
	高齢者(通所系)	49 100.0	20 40.8	7 14.3	16 32.7	11 22.4	12 24.5	6 12.2
	高齢者(訪問系)	33 100.0	19 57.6	5 15.2	9 27.3	8 24.2	10 30.3	5 15.2
	障害児・者(入所系)	91 100.0	41 45.1	24 26.4	17 18.7	24 26.4	16 17.6	21 23.1
	障害児・者(通所系)	148 100.0	77 52.0	29 19.6	47 31.8	26 17.6	37 25.0	24 16.2
	障害者(訪問系)	4 100.0	1 25.0	-	3 75.0	-	1 25.0	-
	児童(保育所・こども園)	370 100.0	214 57.8	135 36.5	90 24.3	85 23.0	75 20.3	99 26.8
	児童(保育所・こども園以外)	53 100.0	22 41.5	21 39.6	13 24.5	13 24.5	10 18.9	15 28.3
	その他	31 100.0	16 51.6	7 22.6	6 19.4	6 19.4	9 29.0	4 12.9

※いずれかの種別で、要望が20%を超えた項目のみ抽出。

現在の勤務先への要望×性別

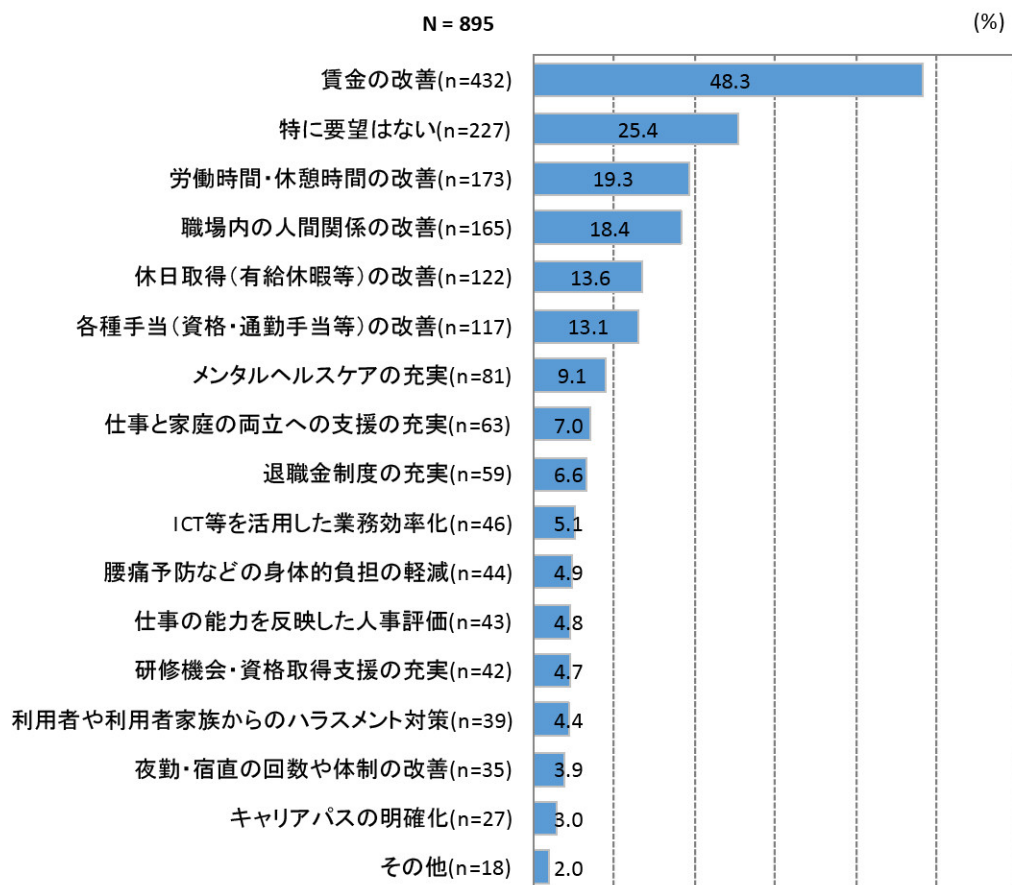
- ・現在の勤務先への要望と性別の関連を見ると、女性が「労働時間・休憩時間の改善」及び「休日取得（有給休暇等）の改善」への要望が特に多い。

上段: 度数		現在の勤務先への要望はありますか。当てはまるものを全て選んでください。						
下段: %		合計	賃金の改善	労働時間・休憩時間の改善	特に要望はない	職場内の人間関係の改善	各種手当(資格・通勤手当等)の改善	休日取得(有給休暇等)の改善
全体		932 100.0	490 52.6	246 26.4	244 26.2	209 22.4	206 22.1	190 20.4
女		740 100.0	391 52.8	217 29.3	193 26.1	174 23.5	163 22.0	167 22.6
男		190 100.0	97 51.1	29 15.3	51 26.8	35 18.4	42 22.1	22 11.6
その他		2 100.0	2 100.0	-	-	-	1 50.0	1 50.0

※いずれかの性別で、要望が20%を超えた項目のみ抽出。

問 24—1 問 24 で選んだ回答の中でも、特に重視する番号を最大3つまで選んでください。【MA】

- ・特に重視する要望について、最も多いのは「賃金の改善」で 432 件（48.3%）となっており、次いで「労働時間・休憩時間の改善」が 173 件（19.3%）、「職場内の人間関係の改善」が 165 件（18.4%）となっている。
- ・なお、「特に要望はない」が 227 件（25.4%）となり、問 2 4 から重視する番号を抽出した本設問では、より上位の項目となった。



問 25 福祉の職場に対する就労環境や定着など、ご意見があれば具体的にご記入ください。（例：労働条件、職員間のコミュニケーションや親睦について等、具体的にお願いします。）【FA】

- ・多くのコメントは賃金の向上を求めており、労働環境の改善（特に有給休暇の取得）や人手不足の解消を強調している。また、職員間のコミュニケーションの充実が求められており、具体的な対策として国や県の方針の見直しも挙げられている。

【賃金の向上】

- ・作業内容に対しての賃金向上と職場環境の向上。
- ・とにかく賃金があがるとありがたいです。
- ・労働と給料が見合わない。
- ・賃金改善や尊敬できる先輩や上司がいること。
- ・賃金を上げて欲しい。
- ・給料を上げて欲しい。
- ・給与面の改善(特に無資格の方)、職員の自己分析が大切だと思います。
- ・給料が安い。
- ・賃金が低い。
- ・賃金が低すぎる。
- ・負担が大きい仕事なのに、見合った賃金を貰えていない。
- ・賃金を上げてほしい。
- ・低賃金の問題が大きい。
- ・福祉全体の賃金が上がればいいなと思います。
- ・福祉全般の給料をもっとあげてほしい。
- ・賃金を上げてください。
- ・福祉の仕事全体的にもっと賃金を上げるべきだと考える。
- ・給料をあげていただきたい。
- ・賃金が安く職員が集まらない為日々人手不足になっている。
- ・給料を上げてください。
- ・給与をあげてほしい。
- ・給料の改善。
- ・賃金の改善をよろしくお願い致します。
- ・給料が安いので他職種への転職を考えている若い保育士が沢山居る。
- ・賃金が低い。
- ・賃金を上げて欲しい。
- ・賃金を上げるべき。
- ・給料を上げて欲しい。
- ・賃金の改善、手当の充実。

- ・賃金の引き上げ、各種手当の充実。

【労働条件の改善】

- ・労働条件の改善。
- ・労働条件（給料や対人数）、親睦会とか誕生日月のお祝いなどコミュニケーションが取れるところなどが欲しい。
- ・人手不足の解消や賃金の見直しがない限り、この問題は解決しないと思う。
- ・労働条件。
- ・労働条件をよくする、有給休暇取得率あげる、時間外手当を全額。
- ・労働条件の改善、給料の増額、休日の取得。

【労働環境の改善】

- ・職場環境の向上。
- ・働きやすい環境をつくってほしい。
- ・職場の安心できる空気感。
- ・働きやすくストレスを軽減できるような職場環境。
- ・職場環境を改善する様子は無い。
- ・利用者や家族、職員が居心地のよい場所を作る。
- ・人手不足で不満を抱えていたり、スタッフ間の人間関係が悪かったりしている為、もう少し働きやすくストレスを軽減できるような職場環境にするために、ストレスマネジメントできるような機会やスタッフ間のコミュニケーションが取れやすいような機会を業務時間内に作って欲しい。

【人手不足】

- ・労働者不足。
- ・日々、人が不足の中業務を行っている。
- ・全体的な人材不足。
- ・人手不足なため、有給を取りやすい環境にしてほしい。

【その他】

- ・職員間のコミュニケーションをもっと密に図ったほうが良いと思う。
- ・職員の報告書、連絡、相談。
- ・もっと福祉職の現場の現状を知ってほしい。
- ・国や県から出される配置基準や方針を考えながら働く現実的に負担が大きく、厳しい対応になる。